本文

官報

昭和十一年八月一日
第二千八百七十五號　土曜日

皇室令

朕宮内省官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和十一年七月三十一日

宮内大臣　松平恒雄
内閣總理大臣　廣田弘毅
内務大臣　潮惠之輔

皇室令第七號

宮内省官制中左ノ通改正ス

第四十三條第二項中「四人」ヲ「三人」ニ改ム

第四十四條第二項中「十五人」ヲ「十七人」ニ改ム

昭和五年皇室令第一號附則第二項中「又ハ圖書寮編修官」ヲ削ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ圖書寮編修官ノ職ニ在ル者ハ其ノ定員ノ改正ニ拘ラス當分ノ内在任セシムルコトヲ得

勅令

朕外務部内臨時職員設置制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和十一年七月三十一日

内閣總理大臣　廣田弘毅
外務大臣　有田八郎

勅令第二百四十號

外務部内臨時職員設置制中左ノ通改正ス

第二條ノ二ヲ第二條ノ三トス

第二條ノ二　通商振興ニ關スル事務ニ從事セシムル爲外務省ニ左ノ職員ヲ置キ通商局ニ屬セシム

書記官	専任一人
事務官	専任五人内一人ヲ勅任トスコトヲ得
理事官	専任二人
技師	専任一人
屬	専任七人

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕高等官官等俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和十一年七月三十一日

内閣總理大臣　廣田弘毅

勅令第二百四十一號

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス

第八條中「資源局事務官」ノ次ニ「外務事務官」ヲ加フ

別表第一表外務省ノ部中調査部長ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

外務事務官	

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕陸軍航空技術研究所令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和十一年七月三十一日

内閣總理大臣　廣田弘毅
陸軍大臣　伯爵寺内壽一

勅令第二百四十二號

陸軍航空技術研究所令中左ノ通改正ス

第一條中「航空ニ關スル器材」ヲ「航空ニ關スル兵器」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

昭和十年七月三十一日公布　勅令第二百二十二號陸軍航空技術研究所令抄錄

第一條　陸軍航空技術研究所ハ航空ニ關スル器材燃料等ノ考案及審査ヲ爲シ且航空技術ニ關スル調査研究及試驗ヲ行ヒ其ノ改良進歩ヲ圖ル

朕陸軍航空廠令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

目次抄錄

●皇室令　宮内省官制中改正　一
●勅令　外務部内臨時職員設置制中改正　一
陸軍航空技術研究所令中改正　一
陸軍航空廠令中改正　一
陸軍軍需品調達令中改正　二
陸軍兵器廠令中改正　二
陸軍造兵廠令中改正　二
陸軍兵器部令中改正　二
陸軍兵器等盜取ニ關スル件中改正　二
陸軍武官進級令中改正　三
官吏恩給法中改正　四
●告示　外務大臣宮内大臣任官ノ件　四
●告示　宮内大臣任官ノ件　四
●告示　小額紙幣引換ニ關スル件改正　五
●官報　水路告示第三十號　五
●廣告　陸軍兵器廠及陸軍兵器分廠管理令中改正　三
●廣告　陸軍兵器廠試驗公告　三
●廣告　昭和十一年度第大演習製造式參列軍隊ニ便乘貨物出願ノ件　三
●告示ニ別刷（ユーゴースラヴィア國等ノ紋章及旗章其他指定）八頁

明治二十五年三月三十一日　第三種郵便物認可

本文
第28875号

昭和十一年七月三十一日
内閣總理大臣　廣田　弘毅
陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

勅令第二百四十三號
陸軍航空廠令中左ノ通改正ス
第一條中「航空ニ關スル器材」ヲ「航空ニ關スル兵器」ニ改ム
附　則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕
昭和十年七月三十日公布勅令第二百二十二號陸軍航空廠令抄錄
第一條　陸軍航空廠ハ航空ニ關スル器材、燃料等ノ購買、貯藏、保存及補給並ニ航空ニ關スル器材ノ廢品處分及修理ヲ掌ル

朕陸軍軍需審議會令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十一年七月三十一日
内閣總理大臣　廣田　弘毅
陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

勅令第二百四十四號
陸軍軍需審議會令中左ノ通改正ス
第五條中「陸軍省軍務局長」ノ下ニ「、陸軍省兵務局長」ヲ加ヘ「及兵監」ヲ「、兵監及陸軍航空本部長」ニ改ム
第六條中「陸軍省整備局統制課長」ヲ「陸軍省整備局整備課長」ニ改ム
附　則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕
昭和七年五月十七日公布勅令第七十二號陸軍軍需審議會令抄錄
第五條　陸軍省軍務局長、陸軍省整備局長、陸軍省兵器局長、陸軍省經理局長、陸軍省醫務局長、參謀本部部長、教育總監部本部長及兵監ハ其ノ關係事項ニ付臨時會議ニ出席シ意見ヲ開申スルコトヲ得
第六條第二項
幹事長ハ陸軍省醫務局長ヲ以テ之ニ充ツ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

朕陸軍兵器廠令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十一年七月三十一日
内閣總理大臣　廣田　弘毅
陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

勅令第二百四十五號
陸軍兵器廠令中左ノ通改正ス
第一條中「陸軍航空本部管掌器材ヲ除ク」ヲ「陸軍航空本部所掌ノモノヲ除ク」ニ改ム
附　則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕
大正二年八月二日公布勅令第三十號陸軍兵器廠令抄錄
第一條　陸軍兵器廠ハ兵器（陸軍航空本部管掌器材ヲ除ク以下之ニ同ジ）ノ購買、檢査、貯藏、保存、修理、補給及廢品處分ヲ掌ル

朕聯隊區司令部令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十一年七月三十一日
内閣總理大臣　廣田　弘毅
陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

勅令第二百四十六號
聯隊區司令部令中左ノ通改正ス
第二條ニ左ノ一號ヲ加フ
五　前各號ニ掲グルモノノ外陸軍大臣ノ定ムル兵事事務
第三條第一項中「下士」ヲ「下士官及」ニ、同條第二項及第六條中「下士」ヲ「下士官」ニ改ム
第七條　第三條ノ職員ノ外軍醫及看護長ヲ所要ノ聯隊區司令部ニ附屬シ司令官ノ命ヲ承ケ醫務ヲ掌ラシムルコトヲ得
附　則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕
大正十二年四月二十日公布勅令第二百六十七號聯隊區司令部令抄錄
第二條　聯隊區司令部ハ師團長ノ管理ニ屬シ當該聯隊區內ニ於ケル左ニ掲クル事務ヲ掌ル
（左記略ス）
第三條　聯隊區司令部ニ左ノ職員ヲ置ク
司令官
部員
副官
下士判任文官
前項職員中下士ハ豫備役又ハ後備役ノ者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

朕陸軍兵器部令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十一年七月三十一日
内閣總理大臣　廣田　弘毅
陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

勅令第二百四十七號
陸軍兵器部令中左ノ通改正ス
第二條第二項中「陸軍航空本部」ヲ「陸軍航空部隊」ニ改ム
第五條及第十二條中「准士官、下士」ヲ「准士官及下士官」ニ改ム
附　則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕
大正七年一月三十一日公布勅令第百七十六號陸軍兵器部令抄錄
第二條　陸軍兵器部ハ當該師管（第十九及第二十師團兵器部ニ在リテハ朝鮮軍司令官ノ定ムル區域）臺灣又ハ滿洲ニ在ル陸軍部隊ノ兵器事務ヲ統理又但シ滿洲駐劄師團ノ兵器事務ハ當該師團兵器部ノ管轄ニ屬ス
前項陸軍部隊ハ陸軍航空本部、陸軍兵器廠、陸軍造兵廠及要塞司令部ヲ包含セス其他第一、第二、第四、第五及第十二師團ニ在リテハ當該師團長ニ隸屬スル部隊トス

朕昭和六年勅令第二百七十一號陸軍兵等級表ニ關スル件中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十一年七月三十一日
内閣總理大臣　廣田　弘毅
陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

勅令第二百四十八號
昭和六年勅令第二百七十一號中左ノ通改正ス
「陸軍兵等級」ヲ「陸軍兵ノ兵科部、兵種及等級」ニ改メ別表ヲ左ノ如ク改ム

別表

陸軍兵ノ兵科部、兵種及等級表

兵科部	兵種	一級	二級	三級
憲兵科		上等兵		
歩兵科	歩兵	上等兵	一等兵	二等兵
騎兵科	騎兵	上等兵	一等兵	二等兵
砲兵科	野砲兵	上等兵	一等兵	二等兵
	山砲兵			
	騎砲兵			
	野戰重砲兵			
	高射砲兵			
	氣球兵			
工兵科	工兵	上等兵	一等兵	二等兵
	鐵道兵			
	電信兵			
航空兵科	飛行兵	上等兵	一等兵	二等兵
輜重兵科	輜重兵	上等兵	一等兵	二等兵
	輜重兵特務兵			特務兵
衛生部	看護兵	上等看護兵	一等看護兵	二等看護兵
	磨工兵	上等磨工兵	一等磨工兵	二等磨工兵
	補助看護兵			補助看護兵
軍樂部	樂手	樂手補		

附　則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ航空兵科ノ氣球兵タル者ハ砲兵科ノ氣球兵ト爲リタルモノトス

朕陸軍武官進級令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十一年七月三十一日
内閣總理大臣　廣田　弘毅
陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

勅令第二百四十九號
陸軍武官進級令中左ノ通改正ス
「准士官」ヲ削リ「下士」ヲ「下士官」ニ改ム
第四條　陸軍武官ノ拔擢進級候補ハ上官タル將校同相當官職權ニ依リ之ヲ選定シ其ノ上官タル將校同相當官選定ノ適否ヲ判定スルノ權ヲ有ス
第五條中「第二十條ノ二」ヲ「第二十條ノ三」ニ改ム
第十九條ニ左ノ二項ヲ加フ
第七條ノ規定ハ前項ニ規定スル者ノ進級ニ付之ヲ準用ス
前項ノ規定ニ依ル實役停年ニハ現役中若ハ召集中ノ期間又ハ軍隊、官衙若ハ學校ニ武官ノ職ヲ奉ジタル期間ヲ通算シ且第八條ノ規定ヲ準用ス
第二十條ノ二ヲ第二十條ノ三トス
第二十條ノ二　第十八條ノ二ノ規定ハ軍隊、官衙又ハ學校ニ武官ノ職ヲ奉ズル豫備役後備役將校同相當官ノ進級ニ付之ヲ準用ス
第二十一條中「前四條」ヲ「前五條」ニ改メ「第十八條ノ四」ノ下ニ「及第二十條ノ二」ヲ加フ
第二十三條中「樂長　補　三年」ヲ削ル
第二十六條　削除

第二十七條　現役下士官ヲ進級セシムルニハ候補及其ノ列序ハ師團長、之ト同等以上ノ權アル長官又ハ陸軍大臣直轄ノ官衙若ハ學校ノ長之ヲ決定シテ拔擢進級候補決定名簿ヲ調製スベシ
第二十七條ノ二第一項中「砲、工兵諸工長ニ在リテハ各兵科毎ニ且各階級毎ニ、編制上兵科ノ區分ナキ部隊ニ屬スル者ハ各兵科毎ニ、編制上兵科ヲ通ジ各階級毎ニ」ヲ「編制上兵科ノ區分ナキ部隊ニ屬スル者又ハ砲、工兵諸工長ニ在リテハ各兵科ヲ通ジ各階級毎ニ、經理部下士官ニ在リテハ計手及縫、靴工長ヲ通ジ各階級毎ニ、衛生部下士官ニ在リテハ看護長及磨工長ヲ通ジ各階級毎ニ」ニ改ム
附　則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ拔擢進級候補決定ノ者ノ進級ニ關シテハ次ノ拔擢進級候補決定ニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ル

〔參照〕
大正五年八月四日公布勅令第百九十九號陸軍武官進級令抄錄
第四條　陸軍武官（將校同相當官ノ武官部准士ノ拔擢進級候補ハ上官タル將校職權ニ依リ之ヲ選定シ其ノ上官タル將校選定ノ適否ヲ判定スルノ權ヲ有ス）
第五條　休職又ハ停職中ノ者ハ之ヲ進級セシメサルモノトス但シ休職者ニシテ第二十條ノ二ノ規定ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラズ
第十九條　豫備役後備役將校同相當官（將官同相當官及大佐同相當官ノ除ク）ニシテ軍隊、官衙又ハ學校ニ武官ノ職ヲ奉シ勤務ノ成績優秀ナル者ハ必要ト認ムル時拔擢シテ之ヲ進級セシムルコトヲ得
第二十一條　前四條ノ規定ニ依ル豫備役後備役將校同相當官ノ進級ニ關シテハ現役將校同相當官ノ例ニ依ル但シ第十八條ノ四ニ規定スル場合ニ於テハ拔擢進級ニ依ラザルコトヲ得
第二十三條　現役准士官下士ノ各官ニ必要ナル實役停年左ノ如シ
樂長　補　三年

特 28875 号 本文

第二十六條　第十四條乃至第二十一條ノ規定ハ樂長補ヲ三等樂長ニ進級セシムル ニ付之ヲ準用ス
第二十七條　現役下士ヲ進級セシムル ニハ候補及其ノ列序ハ師團長之ヲ定メ 同軍司令官ハ師團長ノ上ニ出ル 軍大臣直轄官衙ノ長又ハ軍務局長若ハ陸務局長之ヲ決定シテ 拔擢進級候補決定名簿ヲ調製スヘシ
第二十七條ノ二第一項　現役下士ノ進級ハ拔擢進級候補 決定名簿ノ列序ニ從ヒ各官毎ニ(砲工兵 諸工長ニ在リテハ各兵種毎ニ且各部毎ニ)編制上兵科ノ區分ナキ部隊ニ屬スル者ニ在リテハ各兵科ヲ通シ各部毎ニ)之ヲ行フ但シ拔擢進級ニ依ラザル者ニ在リテハ 決定名簿ノ列序ニ從ハザルコトヲ得

朕官國幣社職制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十一年七月三十一日

内閣總理大臣　廣田　弘毅
内務大臣　潮　惠之輔
拓務大臣　永田秀次郎

勅令第二百五十號

官國幣社職制中左ノ通改正ス

第十一條ニ於テハ朝鮮總督ノ下ニ「朝鮮總督」ヲ、「地方長官」ノ職權ハ「朝鮮總督」ヲ加フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

明治三十五年二月十日公布勅令第二十七號　官國幣社職制抄錄

第十一條　本令中內務大臣ノ職權ハ樺太廳ニ於テハ樺太總督ノ權ニ於テハ樺太廳長官ノ職權ハ樺太廳長官ヲ行ヒ地方長官ノ職權ハ樺太廳長官ヲ行フ

朕官國幣社及神宮神部署神職任用令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十一年七月三十一日

内閣總理大臣　廣田　弘毅
内務大臣　潮　惠之輔
拓務大臣　永田秀次郎

勅令第二百五十一號

官國幣社及神宮神部署神職任用令中左ノ通改正ス

第十三條ニ左ノ一項ヲ加フ

朝鮮ニ於テハ本令中主務大臣ニ屬スル職權ハ朝鮮總督之ヲ行ヒ第三條中主務省トアルハ朝鮮總督府、第九條中文部大臣トアルハ文部大臣又ハ朝鮮總督トシ朝鮮總督ノ選任スル神職高等試驗委員ハ銓衡ニ限リ之ヲ行フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕朝鮮神宮職員令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十一年七月三十一日

内閣總理大臣　廣田　弘毅
拓務大臣　永田秀次郎

勅令第二百五十二號

朝鮮神宮職員令中左ノ通改正ス

第九條中「及權宮司」ヲ削ル

第十條ヲ削ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

大正十四年九月十一日公布勅令第二百七十六號朝鮮神宮職員令抄錄

第九條　宮職員ハ宮司及權宮司ハ官國幣社及神宮神部署神職任用令ニ依ル高等試驗ノ合格者及同令第八條第二號乃至第六號ノ規定ニ依リ奏任待遇ノ神職ニ任用セラルル資格アル者ノ中ヨリ之ヲ任用ス

第十條　禰宜及主典ハ官國幣社及神宮神部署神職任用令ニ依ル高等試驗ノ合格者其ノ他同令ニ依リ判任待遇ノ神職ニ任用セラルル資格アル者ノ中ヨリ之ヲ任用ス

禰宜及主典ハ前項ノ規定ニ依ル外官國幣社及神宮神部署神職任用令第九條第一項第二項第三項及第十二條ノ例ニ依リ朝鮮總督ノ選任スル尋常試驗委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ任用スルコトヲ得但シ同令第九條中文部大臣トアルハ朝鮮總督トス

朕朝鮮ニ於ケル官國幣社以外ノ神社ノ神饌幣帛料供進ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十一年七月三十一日

内閣總理大臣　廣田　弘毅
拓務大臣　永田秀次郎

勅令第二百五十三號

第一條　道又ハ府邑面ハ朝鮮ニ於ケル官國幣社以外ノ神社ニ神饌幣帛料ヲ供進スル前項ノ規定ニ依リ道又ハ府邑面ヨリ神饌幣帛料ヲ供進スルコトヲ得ベキ神社ハ朝鮮總督之ヲ指定ス

第二條　前條第一項ノ神饌幣帛料ノ金額ハ朝鮮總督之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

大正十四年九月十一日公布勅令第二百七十六號朝鮮神

朕官國幣社以下神社幣帛供進使服制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十一年七月三十一日

内閣總理大臣　廣田　弘毅
内務大臣　潮　惠之輔
拓務大臣　永田秀次郎

勅令第二百五十四號

官國幣社以下神社幣帛供進使服制中左ノ通改正ス

第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

奏任官ノ待遇ヲ受クル邑面長ハ奏任官ノ制ニ準ジ判任官ノ待遇ヲ受クル邑面長ハ判任官ノ制ニ準ズ其ノ代理者ニ付亦同ジ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

省令

◎宮內省令第五號

大正十一年宮內省令第十九號中勅裁ヲ經テ左ノ通改正ス

昭和十一年八月一日　宮內大臣　松平　恒雄

圖書寮編修官補ノ下「六人」ヲ「四人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ圖書寮編修官補ノ職ニ在ル者ハ其ノ定員ノ改正ニ拘ラス當分ノ內在任セシムルコトヲ得

(參照)

大正十一年十二月宮內省令第十九號ハ宮內判任官ノ定員ノ件ナリ

◎陸軍省令第二十號

大正十四年陸軍省令第十六號憲兵配置及憲兵分隊管區中左ノ通改正ス

昭和十一年八月一日　陸軍大臣　伯爵　寺內　壽一

東京憲兵隊ノ部中「東京府東京市麴町區丸ノ內」ヲ「東京府東京市麴町區竹平町」ニ改メ同憲兵隊麴町憲兵分隊ノ項中「新佃島西町、同東町」ノ下ニ「月島三號地、同四號地」ヲ加ヘ「(長崎南町一丁目乃至三丁目、長崎東町一丁目乃至四丁目、長崎仲町一丁目、二丁目、千川町一丁目乃至三丁目乃至三丁目ヲ除ク)」ヲ「(長崎南町、長崎東町、長崎仲町、千川町ヲ除ク)」ニ改メ「大島、八丈島、」ヲ削リ「小笠原島」ノ下ニ「伊豆七島」ヲ加ヘ(柴又町一丁目乃至三丁目、金町一丁目乃至六丁目)」ヲ「(柴又町、金町、」ニ、「(小岩町ヲ除ク)」ニ、同憲兵隊板橋憲兵分隊ノ項中「(長崎南町一丁目乃至三丁目、長崎南町、長崎東町、長崎仲町、千川町)」ニ、同憲兵隊赤坂憲兵分隊ノ項中「仲町一丁目乃至三丁目、」ヲ「仲町、」ニ、「(穩田一丁目乃至三丁目、原宿、千駄ケ谷、」ニ、同憲兵隊牛込憲兵分隊ノ項中「仲町一丁目乃至五丁目、」ヲ「(穩田、原宿、千駄ケ谷、」ニ、同憲兵隊牛込憲兵分隊ノ項中「仲町一丁目乃至三丁目、」ヲ「仲町、」ニ、同憲兵隊澁谷憲兵分隊ノ項中「(穩田一丁目乃至三丁目、原宿一丁目乃至三丁目、千駄ケ谷一丁目乃至五丁目、」ヲ「(穩田、原宿、千駄ケ谷、」ニ、同憲兵隊市川憲兵分隊ノ項中「(柴又町一丁目乃至三丁目、金町一丁目乃至六丁目、」ヲ「(柴又町、金町、」ニ、「(小岩町一丁目乃至八丁目)」ヲ「(小岩町)」ニ改メ同憲兵隊千葉憲兵分隊ノ項中「君津郡」、「安房郡」、及「館山(千葉縣安房郡館山北條町)」ヲ削リ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

館山	千葉縣安房郡館山北條町	千葉縣君津郡	君津郡、安房郡
		木更津	千葉縣君津郡木更津町

横濱憲兵隊横濱憲兵分隊ノ項中「川崎市、」ノ下ニ「久良岐郡、」ヲ加ヘ同項管轄分遣隊ノ欄ヲ「富岡(神奈川縣久良岐郡金澤町)」ニ改メ同憲兵隊横須賀憲兵分隊ノ項中「久良岐郡、」ヲ削ル

名古屋憲兵隊三島憲兵分隊ノ項中管轄分遣隊ノ欄ヲ「富士裾野(靜岡縣駿東郡御殿場町)」ニ改ム

大阪憲兵隊大手前憲兵分隊ノ項中「南區」ノ下ニ「、天王寺區、浪速區、西成區」ヲ加ヘ「(瓦屋町、二ツ井戸町、高津町、御藏跡町、日本橋筋、阪町、東橋町、西橋町、九郎右衞門町、湊町、難波新地ヲ除ク)」及「(三宅村、松原村、布忍村、天美村、矢田部村、瓜破村ヲ除ク)」ヲ削リ同憲兵隊難波憲兵分隊ノ項ヲ左ノ如ク改ム

堺	大阪府南河內郡金岡村	大阪府	大阪市住吉區、堺市、岸和田市、南河內郡、泉北郡、泉南郡(下莊村、淺香村、深日村、孝子村、多奈川村ヲ除ク)
		和泉	大阪府泉北郡和泉町

廣島憲兵隊廣島憲兵分隊及同吳憲兵分隊ノ項中「津久茂村、」ヲ削リ同憲兵隊山口憲兵分隊ノ項中「萩市、」ノ下ニ「德山市、」ヲ加フ

熊本憲兵隊ノ部中「熊本縣熊本市千葉城町」ヲ「熊本縣熊本市熊本城內」ニ改メ同憲兵隊鹿兒島憲兵分隊ノ項中「、沖繩縣」ヲ削リ「那覇(沖繩縣那覇市松山町)」ヲ「鹿屋(鹿兒島縣肝屬郡鹿屋町)」ニ、同憲兵隊都城憲兵分隊ノ項中「都城市」ヲ「都城市藏原町」ニ、同憲兵隊大分憲兵分隊ノ項中「大分縣大分市大字大分」ヲ「大分縣大分市北新町」ニ改メ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

那覇	沖繩縣那覇市松山町	沖繩縣	

久留米憲兵隊大村憲兵分隊ノ項中「大村、」ヲ削リ「崎戸町、」ノ下ニ「瀨戸町、」ヲ加ヘ「瀨戸村、」ヲ削リ「多以良村、」ノ下ニ「平島村、江島村、」ヲ加ヘ同憲兵隊佐世保憲兵分隊ノ項中「廣田村、」、「日宇村、佐世村、」ヲ削リ「崎戸町、」ノ下ニ「瀨戸町、」ヲ加ヘ「瀨戸村、」ヲ削リ「多以良村、」ノ下ニ「平島村、江島村、」ヲ加ヘ同憲兵隊小倉憲兵分隊ノ項中「福岡縣小倉市舊城內」ヲ「福岡縣小倉市田町」ニ、「福岡縣八幡市」ヲ「福岡縣八幡市丸山町」ニ、同憲兵隊下關憲兵分隊ノ項中「福岡縣門司市」ヲ「福岡縣門司市老松町」ニ改ム

宇都宮憲兵隊水戶憲兵分隊ノ項中「茨城縣水戶市上市南町」ヲ「茨城縣水戶市南町」ニ改ム

京都憲兵隊中舞鶴憲兵分隊ノ項中「舞鶴(京都府加佐郡舞鶴町)」ヲ「舞鶴(京都府加佐郡舞鶴町)」、「栗田(京都府與謝郡栗田村)」ニ、同憲兵隊津憲兵分隊ノ項中「三重縣津市岩田」ヲ「三重縣津市西阿漕町」ニ改ム

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

達

◎陸達第二十九號

陸軍會計事務規程中左ノ通改正ス

昭和十一年八月一日　陸軍大臣　伯爵　寺內　壽一

第二條中「師團司令部、」ノ下ニ「航空兵團司令部、」ヲ加フ

第四十五條第五號中「(陸軍倉庫ヲ除ク以下同シ)」ヲ「(所管內ニ在ル飛行團司令部及飛行隊ヲ含ミ陸軍倉庫ヲ除ク以下同ジ)」ニ、同條第六號中「但シ陸軍省ニ在リテハ」ヲ「但シ航空兵團司令部ニ在リテハ同司令部附主計正、陸軍省ニ在リテハ」ニ改ム

別表第一所管區分ノ欄中「當該師團並其ノ隸屬部隊ニ係ル收入及經費」ヲ「當該師團及其ノ隸屬部隊並ニ第二飛行團司令部及飛行第九聯隊ニ係ル收入及經費」ニ改ム

◎陸達第三十號

陸軍物品會計規程中左ノ通改正ス

昭和十一年八月一日　陸軍大臣　伯爵　寺內　壽一

第二條第一項第五號乃至第七號ヲ左ノ如ク改ム

五　航空兵團司令部ニ在リテハ同司令部附主計正

六　陸軍航空本廠ニ在リテハ會計課長

七　陸軍造兵廠ニ在リテハ左ノ區分ニ依ル

特 2875 号 特文

造兵廠（工廠ヲ除ク）　會計部長
工廠　當該會計課長
八　其ノ他ノ部隊ニ在リテハ　當該部隊長

◎陸達第三十一號

航空加俸支給規則中左ノ通改正ス

昭和十一年八月一日

陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

附表第一中「飛行團司令部」ヲ「航空兵團司令部、飛行團司令部」ニ「飛行團長」ヲ「航空兵團長、飛行團長」ニ改ム

◎陸達第三十二號

陸軍造兵廠服務規程中左ノ通改正ス

昭和十一年八月一日

陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

第五條中「及直轄製造所」ヲ削ル

第七條中「又直轄製造所及工廠所屬製造所」ヲ「工廠ノ各製造所」ニ改ム

第八條表ヲ左ノ如ク改ム

區分	製造所名	所在地	主要製造品目
東京工廠	銃包製造所	東京	實包、空包等
	精器製造所		信管其ノ他ノ火具類、起爆劑、光學的兵器、電氣的兵器等
火工廠	板橋火藥製造所	東京	火藥原料、爆藥等
	王子火藥製造所		火藥、爆藥等
	岩鼻火藥製造所	岩鼻	火藥、爆藥等
	宇治火藥製造所	宇治	火藥、爆藥等
	忠海兵器製造所	忠海	爆藥等
名古屋工廠	熱田兵器製造所	名古屋	車輛、器具材料、砲用車輛等、器具材料、飛行機、自動車等
	千種兵器製造所		火砲、車輛、器具材料、彈丸、航空機彈、機關銃等
大阪工廠	火砲製造所	大阪	火砲用彈丸、航空機彈、信管其ノ他ノ火具類、起爆劑等
	彈丸製造所		砲用彈丸、航空機彈、信管其ノ他ノ火具類、起爆劑等
	鐵材製造所		鐵材、鑄造品、鍛成品等
	小倉工廠	小倉	砲用彈丸、航空機彈、車輛、器具材料、飛車、平刀、鑄造品等
	銃器製造所		小銃、拳銃、銃劍、機關銃等
	平壤兵器製造所	平壤	砲用彈丸、航空機彈、車輛、器具材料、飛行機等

第十條中「工廠附又ハ直轄製造所附」ヲ「又ハ工廠附」ニ改ム

第二十四條　第五號中「及直轄製造所」ヲ削ル

第二十六條中「火工廠」ヲ「東京工廠」ニ改ム

◎陸達第三十三號

陸軍造兵廠技術部派出所ノ名稱及位置竝ニ其ノ業務左ノ通定ム

昭和十一年八月一日

陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

名稱	位置	業務
陸軍造兵廠技術部八幡派出所	福岡縣八幡市	兵器ノ採用檢査及兵器材料等ノ檢査等
同室蘭派出所	北海道室蘭市	
同廣島派出所	廣島縣廣島市	

◎陸達第三十四號

陸軍航空本部業務分掌規程左ノ通改正ス

昭和十一年八月一日

陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

陸軍航空本部業務分掌規程

第一條　總務部第一課ニ於テハ左ノ業務ヲ掌ル

一　本部一切ノ業務整理ニ關スル事項

二　本部一切ノ庶務、人事、給與及用度ニ關スル事項

三　航空部隊ノ編制、裝備及動員ニ關スル事項（陸軍省軍務局及整備局所掌事務ヲ除ク）

四　飛行場、爆撃場、空中射撃場其ノ他ノ航空兵要施設竝ニ航空兵器及航空機燃料ノ製造及貯藏ノ設備ニ關スル事項

五　令達セラレタル航空豫算ノ一般統制及經理ニ關スル事項

六　第二課及他部主管ニ屬セザル事項

第二條　總務部第二課ニ於テハ左ノ業務ヲ掌ル

一　航空ニ關スル事項（他部主管事項ヲ除ク）ノ調査及研究ニ關スル事項

二　航空諜報ニ關スル事項

三　民間航空ニ關スル事項

四　航空路ニ關スル事項

第三條　第一部ニ於テハ左ノ業務ヲ掌ル

一　航空兵軍隊專門教育ノ齊一進歩ニ關スル事項

二　航空兵ノ本務及軍隊教育ニ關スル事項

三　航空關係諸學校ノ教育ニ關スル事項

四　航空ニ關スル演習、檢閲及典令範ニ關スル事項

五　兵要氣象ニ關スル事項

第四條　第二部ニ於テハ左ノ業務ヲ掌ル

一　航空兵器及航空機燃料ノ制式、支給、交換、調達、整備、檢査及拂下竝ニ之ニ關スル一切ノ經理事項

二　航空兵器及航空機燃料ノ調査、研究及審査ニ關スル事項

三　航空兵器製造ノ指導及監督官ノ業務ニ關スル事項

四　民間軍需品工場ノ利用、培養及統制ニ關スル事項

五　航空技術ニ從事スル將校以下ノ技術教育ニ關スル事項

六　航空兵器ニ關スル戰時諸規則ニ關スル事項

第五條　監督官長及監督官ハ昭和九年陸達第一號ニ規定スル軍需品工場ニ對スル監督ノ業務ヲ掌ル

（參照）

昭和九年十一月三日陸達第一號ハ軍需品工場ノ監督ニ關スル件ナリ

◎陸達第三十五號

兵器取扱規則中左記ノ通改正ス

昭和十一年八月一日

陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

（左記略ス）

告示

◎大藏省告示第二百三十六號

昭和十一年七月中小額紙幣銷却高左ノ如シ

種類	枚數	金額
五拾錢	五八、〇〇〇枚	二九、〇〇〇圓〇〇
貳拾錢	四四、〇〇〇	八、八〇〇圓〇〇
拾錢	一二二、〇〇〇	一二、二〇〇圓〇〇
計	二二四、〇〇〇	五〇、〇〇〇圓〇〇

參照

昭和十一年七月末小額紙幣發行殘高左ノ如シ

發行高累計	四〇四、五〇〇、〇〇〇圓〇〇
銷却高累計	三九三、五一〇、〇〇〇圓〇〇
發行殘高	一〇、九九〇、〇〇〇圓〇〇

昭和十一年八月一日

大藏大臣　馬場　鉄一

◎陸軍省告示第三十五號

昭和一年陸軍省告示第十五號ハ之ヲ廢止ス

昭和十一年八月一日

陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

（參照）

昭和一年九月十一日陸軍省告示第十五號ハ佐世保要塞地ニ於ケル禁止制限解除ノ事項及其ノ區域ノ件ナリ

◎陸軍省告示第三十六號

昭和九年陸軍省告示第四十六號中左ノ通改正ス

昭和十一年八月一日

陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

事項	區域
要塞地帶法第七條中漁獵、採藻、採鉱、撮影、模寫、鑑取	長崎縣西彼杵郡高島村（石炭採掘ニ關スル事項ニ限ル）、長崎縣西彼杵郡小榊村字小戸郷、木鉢郷、香焼村字香焼瀬）ニ於ケル水面
同第九條中漁獵、採藻	同縣北松浦郡相浦町上俵ケ浦
	同縣西彼杵郡江ノ島村ニ於ケル水面ノ一部
	同縣西彼杵郡高村ニ於ケル水面
同第十條ニ揚ル事項	長崎縣佐世保市
	同縣北松浦郡相浦町上俵ケ浦
	同縣西彼杵郡江ノ島村
同第十條第一號ニ第三號及第五號ニ掲グル事項	同第十條第一號ニ第三號及第五號ニ掲グル事項
同第十條第一號ニ第三號及第五號ニ掲グル事項	同第十條第一號ニ第三號及第五號ニ掲グル事項
同第十二條及第十三條中第二區ニ關スル事項	長崎縣長崎市
	同縣西彼杵郡小獅村ニ於ケル一部
	同縣佐世保市横尾兔山中兔、熊ケ倉兔ヲ除ク
	同縣北松浦郡相浦町上俵ケ浦
	第三區（長崎要塞地其一ニ限ル但シ長崎縣長崎市ノ一部及ヲ除ク）
	同縣西彼杵郡福田村、香焼村
同第十五條ニ掲グル事項	長崎縣佐世保市（長崎要塞地其二ノ第一區內ノ地帶、赤崎兔日宇崎邊兔、熊ケ倉兔、横尾兔及山中兔ヲ除ク）
同第十五條第二號、第三號、第四號	第三區（長崎要塞地其二、其三ニ限ル）
同第十六條中道路、橋梁、永久棧橋	第二區、第三區

備考

一　要塞地帶法第十一條及第十二條ニ掲グル事項ヲ解除シタル區域ニ於テハ同法第十四條中之ニ相當スル事項モ亦之ヲ解除シ別ニ本表ニ掲ゲズ一部解除ノ區域ハ長崎要塞司令部、當該區域ノ管轄スル市役所町村役場警察官、憲兵隊ニ備フル圖面ニ就キ見ルベシ

二

（參照）

昭和九年十二月三日陸軍省告示第四十六號ハ長崎要塞地ニ於ケル禁止制限解除ノ事項及其ノ區域ノ件ナリ

羅津要塞地

◎陸軍省告示第三十七號

要塞地帶法第三條及第六條ニ依リ羅津ニ於ケル陸軍防禦營造物ノ地帶ハ左圖點線（要塞地帶法第七條第二項ノ區域ヲ示ス）ヨリ內方三千五百間ノ地點以內トシ各區域ハ實地ニ標識ヲ設ケテ之ヲ表示ス

昭和十一年八月一日

陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

第28875号

◎陸軍省告示第三十八號

昭和三年陸軍省告示第十二號中左ノ通改正ス

昭和十一年八月一日

陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

學校ノ區分欄中「紫野中學」ヲ削ル

〔參照〕

昭和三年五月十六日陸軍省告示第十二號ハ兵役法施行令第百條第二號第三號ニ該當スル學校ニ在學スル者ニ付徵集ヲ延期シ得ヘキ最高年齢ノ件ナリ

◎陸軍省告示第五號

明治三十二年八月陸軍省海軍省告示中左ノ通改正ス

昭和十一年八月一日

陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

海軍大臣　永野　修身

「佐世保、」及佐世保要塞地（其一）、（其二）ノ圖ヲ削ル

〔參照〕

明治三十二年八月十日陸軍省海軍省告示ハ佐世保、舞鶴及對馬ニ於ケル陸軍防禦營造物ノ地帶區域ノ件ナリ

◎陸軍省告示第六號

明治三十二年八月陸軍省海軍省告示中左ノ通改正ス

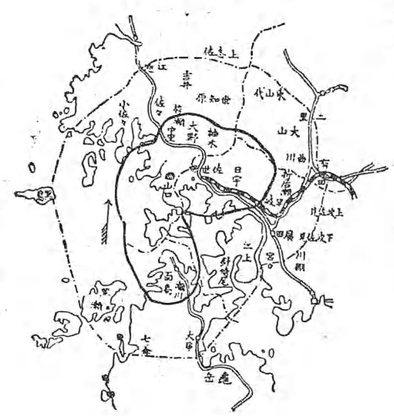
昭和十一年八月一日

陸軍大臣　伯爵　寺内　壽一

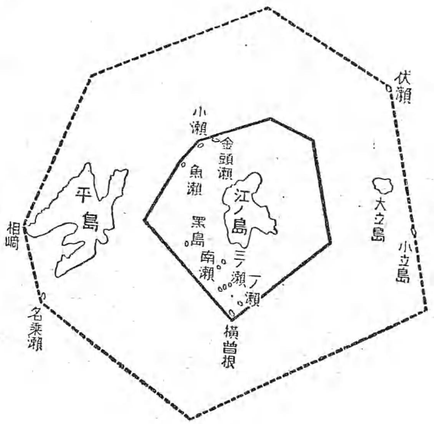
海軍大臣　永野　修身

「長崎要塞地」ヲ「長崎要塞地（其ノ一）」ニ改メ左ノ圖ヲ加フ

長崎要塞地（其二）



長崎要塞地（其三）



〔參照〕

明治三十二年八月十日陸軍省海軍省告示ハ長崎ニ於ケル陸軍防禦營造物ノ地帶區域ノ件ナリ

◎文部省告示第二百九十九號

大正七年文部省令第三號第二條第二號ニ依リ左記ノ學校ヲ高等學校高等科若ハ大學豫科ト同等以上ト指定ス

昭和十一年八月一日

文部大臣　平生釟三郎

昭和高等商業學校

但シ昭和十一年三月以後ノ本科卒業者ニ限ル

◎文部省告示第三百號

三重縣阿山郡上野町ニ設置セル三山珠算簿記學校ノ名稱ヲ昭和十一年八月ヨリ私立共立實業學校ニ變更ノ件昭和十一年七月三十日認可セリ

昭和十一年八月一日

文部大臣　平生釟三郎

◎文部省告示第三百一號

上海居留民團ノ設置セル上海居留民團立日本實業學校ヲ昭和十一年六月六日限廢止ノ件昭和十一年六月六日認可セリ

昭和十一年八月一日

文部大臣　平生釟三郎

外務大臣　有田　八郎

◎農林省告示第二百五十三號

大正十二年農商務省告示第七十六號中左ノ通改正ス

昭和十一年八月一日

農林大臣　島田　俊雄

種馬所及種馬所ノ事務ヲ行フ種馬牧場ノ管轄區域ノ部十勝種馬所ノ行中「同網走支廳管内ノ内網走郡斜里郡常呂郡」ヲ削ル

同部北見種馬所ノ行中「ノ内紋別郡」ヲ削ル

〔參照〕

大正十二年三月三日農商務省告示第七十六號ハ種馬牧場種馬育成所及種馬所ノ名稱位置並種馬所及種馬所ノ事務ヲ行フ種馬牧場ノ管轄區域ノ件ナリ

◎商工省告示第五十二號

不正競爭防止法第四條第一項及商標法第二條第一項第二號ノ二ノ規定ニ依リ左ノ通（別冊ノ（一））「ユーゴースラヴィア」國ノ紋章及旗章ヲ指定シ昭和十一年八月五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年八月一日

商工大臣　小川鄕太郎

◎商工省告示第五十三號

不正競爭防止法第四條第一項ノ規定ニ依リ左ノ通（別冊ノ（二））「ユーゴースラヴィア」國ノ國旗ヲ指定シ昭和十一年八月五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年八月一日

商工大臣　小川鄕太郎

◎商工省告示第五十四號

不正競爭防止法第四條第一項及商標法第二條第一項第二號ノ二ノ規定ニ依リ左ノ通（別冊ノ（三））「モロッコ」國ノ紋章及旗章ヲ指定シ昭和十一年八月五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年八月一日

商工大臣　小川鄕太郎

◎商工省告示第五十五號

不正競爭防止法第四條第一項ノ規定ニ依リ左ノ通（別冊ノ（四））「モロッコ」國ノ國旗ヲ指定シ昭和十一年八月五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年八月一日

商工大臣　小川鄕太郎

◎商工省告示第五十六號

不正競爭防止法第四條第三項及商標法第二條第一項第三號ノ二ノ規定ニ依リ左ノ通（別冊ノ（五））「ユーゴースラヴィア」國ノ官ノ監督用ノ印章ヲ指定シ昭和十一年八月五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年八月一日

商工大臣　小川鄕太郎

◎遞信省告示第千八百五十三號

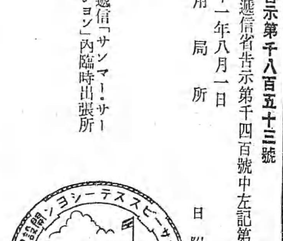
昭和六年七月遞信省告示第千四百號中左記第二號「使用ニ期間アルモノ」ニ左ノ通追加ス

昭和十一年八月一日

遞信大臣　賴母木桂吉

使用局所	使用期間
鐵倉郵便局遞信「サンマー・サービス・ステイシヨン」內臨時出張所	自昭和十一年八月一日至同年同月三十一日

日附印形式



〔參照〕

昭和六年七月遞信省告示第千四百號ハ關係文字ヲ挿入セル通信日附印使用ノ件ナリ

◎遞信省告示第千八百五十四號

左記私設無線電信ノ施設者名義ヲ下記ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十一年八月一日

遞信大臣　賴母木桂吉

關係告示	舊施設者名	機器裝置場所	新施設者名
大正八年五月遞信省告示第五百九十號	日魯漁業株式會社	汽船玉津丸	嶋谷汽船株式會社
昭和三年一月同第百七十二號	同北進丸		小川合名會社（小川北進丸託送）

◎遞信省告示第千八百五十五號

昭和十一年七月二十五日ヨリ左記電信取扱所ノ位置ヲ下記ノ通變更セリ

昭和十一年八月一日

遞信大臣　賴母木桂吉

名稱	舊位置	新位置
玉津丸無線電信取扱所	日魯漁業株式會社所屬汽船玉津丸	嶋谷汽船株式會社所屬汽船玉津丸

◎遞信省告示第千八百五十六號

昭和十一年七月二十四日ヨリ大正十四年九遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「日魯北進丸託送」ノ項ヲ左ノ通改ム

昭和十一年八月一日

遞信大臣　賴母木桂吉

名稱	發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
小川北進丸託送（小川合名會社北進丸）		JATC	各海岸局及各船舶局	和文電報

◎遞信省告示第千八百五十七號

昭和八年遞信省告示第二千四百二十號內國、外國及日滿航空郵便物ヲ遞送スヘキ本邦ノ航空郵便線路中其ノ末尾ニ左記ヲ加ヘ本日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年八月一日

遞信大臣　賴母木桂吉

航空郵便線路	發著地	航空郵便局受渡	遞送回數	備考
臺北高雄間	臺北、臺中、臺南、高雄	臺北、臺中、臺南、高雄	各三回	昭和十一年八月三十一日迄毎週上下各二回トス
臺北花蓮港間	臺北、宜蘭、花蓮港	臺北、宜蘭、花蓮港	各二回	毎週上下

◎遞信省告示第千八百五十八號

昭和十一年八月三日ヨリ左記郵便局ニ電信及電話通話事務ヲ開始ス但シ電報配達事務ヲ取扱ハズ

昭和十一年八月一日

遞信大臣　賴母木桂吉

名稱	位置
久留米郵便局	東京府北多摩郡久留米村

◎遞信省告示第千八百五十九號

昭和十一年八月五日ヨリ左記郵便局ニ電信及電話通話事務ヲ開始ス

昭和十一年八月一日

遞信大臣　賴母木桂吉

名稱	位置
田平郵便局	長崎縣北松浦郡田平村

◎遞信省告示第千八百六十號

昭和十一年八月六日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

昭和十一年八月一日

遞信大臣　賴母木桂吉

現名稱	改稱	位置
湯浦谷郵便局	湯浦郵便局	石川縣石川郡湯浦谷村

◎遞信省告示第千八百六十一號

昭和十一年八月一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス

昭和十一年八月一日

遞信大臣　賴母木桂吉

名稱	現在位置	移轉位置
屈足郵便局	北海道十勝國上川郡新得町字屈足市街	北海道十勝國上川郡新得町字屈足驛前

◎遞信省告示第千八百六十二號

昭和十一年八月十一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

昭和十一年八月一日

遞信大臣　賴母木桂吉

現名稱	改稱	位置
坂根郵便局	影石郵便局	岡山縣英田郡西粟倉村

◎遞信省告示第千八百六十三號

昭和十一年八月六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハズ

昭和十一年八月一日

遞信大臣　賴母木桂吉

名稱	位置
名古屋星崎郵便局	名古屋市南區木星崎町（熱田局集配區內）

特文 号 28715 本文

◎逓信省告示第千八百六十四號

昭和十一年八月六日ヨリ左記郵便取扱所ヲ設置ス

昭和十一年八月一日　逓信大臣　頼母木桂吉

名稱	位置
新二岐郵便取扱所	北海道石狩國夕張郡角田村字日出二岐（總高局集配區内）

◎逓信省告示第千八百六十五號

左記私設無線電信ハ昭和十一年七月十六日限リ廃止ノ旨届出アリタリ

昭和十一年八月一日　逓信大臣　頼母木桂吉

關係告示	施設者名	機器装置場所
太正八年四月逓信省告示第五百五十八號	東洋汽船株式會社	汽船朝洋丸

◎逓信省告示第千八百六十六號

昭和十一年七月十六日限リ左記電信取扱所ヲ廃止ス但シ當該所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

昭和十一年八月一日　逓信大臣　頼母木桂吉

名稱	位置	承繼局
朝洋丸無線電信取扱所	東洋汽船株式會社所屬汽船朝洋丸	横濱郵便局

◎逓信省告示第千八百六十七號

昭和十一年七月十六日限リ大正十四年九逓信省告示第千三百五十號無線局及左記電信省告示第五百五十八號ノ項ヲ削除ス

昭和十一年八月一日　逓信大臣　頼母木桂吉

◎逓信省告示第千八百六十八號

左記私設無線電信ノ施設者名義ヲ下記ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十一年八月一日　逓信大臣　頼母木桂吉

關係告示	舊施設者名	機器装置場所	新施設者名
昭和十一年五月逓信省告示第千百七十九號	日魯漁業株式會社	東丸	澤山汽船株式會社

◎逓信省告示第千八百六十九號

昭和十一年七月二十八日ヨリ大正十四年九逓信省告示第千三百五十號無線局及左記送發受所名等中「日魯新東丸託送」及「伊奈波山丸託送」ノ項ヲ左ノ通改ム

昭和十一年八月一日　逓信大臣　頼母木桂吉

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
澤山新東丸託送（澤山汽船株式會社新東丸）	JHXJ	各海岸局及各船舶局	和文電報
伊奈波山丸託送（日下部久太郎伊奈波山丸）	JDLB	同	同

◎逓信省告示第千八百七十號

昭和十一年八月一日ヨリ八月二十日迄國際電話通話取扱時間中電話加入者ノ爲ス通話受付時間及東京伯林間無線電話連絡時間ノ通改正ス

昭和十一年八月一日　逓信大臣　頼母木桂吉

一電話通加入者ノ爲ス通話受付時間

毎日午前六時ヨリ翌午前二時迄

一東京伯林間無線電話連絡時間

毎日午前五時ヨリ午前七時迄及午後四時ヨリ翌午前三時迄

◎逓信省告示第千八百七十一號

左記郵便局及電信電話取扱所ニ下記ノ日ヨリ電話交換業務ヲ開始ス

昭和十一年八月一日　逓信大臣　頼母木桂吉

名稱	位置	實施期日
平湯郵便局	岐阜縣吉城郡上宮村大字平湯	昭和十一年七月三十一日
話取扱所	澤岡縣安倍郡美和村	昭和十一年八月三日

◎鐵道省告示第二百二十四號

ベニヤ用板材ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十一年八月一日　鐵道大臣　前田　米藏

一品名　ベニヤ用板材（唐木銘木ヲ除ク）

一發驛　木古内。東瀬棚。近文。上盛別。川端（夕張線）。浦河。愛別。留邊蘂。津別。上名寄。下川。興部。上湧別。中湧別。美深。小頓別。中頓別

一著驛　三河島。鶯田川。小名木川。大森。東横濱。湯水。鶯岡。熱田。梅田。尼ヶ崎。湊町。鐘紡前。東武鐵道下板橋。曳舟。名古屋鐵道名古屋港。南海鐵道和歌山市

一扱種別　貸切扱

一期間　自昭和十一年八月一日至昭和十二年一月三十一日

一賃率　省線内十級賃率ノ二割八分減

一條件　一般賃率ニ依リ通計四五〇〇瓲以上託送シタルモノニ對シ六〇〇瓲ニ達シタル日ノ翌日以後ノ託送瓲數ニ就キ運輸帳表取扱手續ニ依リ既收運賃ト本賃率ニ依ル運賃トノ差額ヲ拂戻スモノトス

◎鐵道省告示第二百二十五號

陶器類ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十一年八月一日　鐵道大臣　前田　米藏

一品名　陶器類。陶製ノタイル類。碍子類。ソケット。鍋及玩具類

一發驛　多治見。土岐津。瑞浪。瀬戸電氣鐵道。馱知鐵道及笠原鐵道各驛

一著驛　梅田。梅小路。淀町。小野濱。姫路。岡山。笠岡。尾道。横川（山陽）。下關。周防富田。多度津。南郡中。德島。高知。小倉。箱崎。博多。久留米。羽犬塚。大牟田。熊本。有佐。鹿兒島。佐賀。上有田。早岐。長崎。行橋。南藤鐵道日豐

一扱種別　貸切扱

一期間　自昭和十一年八月一日至昭和十二年一月三十一日

一賃率　省線内普通賃率ノ三割二分減

一條件　一般賃率ニ依リ通計七、六〇〇瓲以上託送シタルモノニ對シ三、一〇〇瓲ニ達シタル日ノ翌日以後ノ託送瓲數ニ就キ運輸帳表取扱手續ニ依リ既收運賃ト本賃率ニ依ル運賃トノ差額ヲ拂戻スモノトス

◎鐵道省告示第二百二十六號

陶器類ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十一年八月一日　鐵道大臣　前田　米藏

一品名　陶器類。陶製ノタイル類。碍子類。ソケット及玩具類

一發驛　多治見。土岐津。瑞浪。瀬戸電氣鐵道。馱知鐵道及笠原鐵道各驛

一著驛　沙留。東横濱。巣鴨。隅田川。秋葉原。惠比壽

一扱種別　貸切扱

一期間　自昭和十一年八月一日至昭和十二年一月三十一日

一賃率　省線内普通賃率ノ二割減

一條件　一般賃率ニ依リ通計六、五〇〇瓲以上託送シタルモノニ對シ三、〇〇〇瓲ニ達シタル日ノ翌日以後ノ託送瓲數ニ就キ運輸帳表取扱手續ニ依リ既收運賃ト本賃率ニ依ル運賃トノ差額ヲ拂戻スモノトス

敍任及辭令

◎昭和十一年七月二十四日

敍從六位　正七位　飯尾　正男

◎昭和十一年七月三十日

敍從五位　正六位勳六等　佐藤　忠雄

敍正六位　從六位勳六等　滿田　賢三

敍從六位　正七位勳六等　衛藤　拳

敍從六位　朝鮮總督府鐵道局書記　岩元　竹一

任朝鮮總督府鐵道局副參事　敍高等官七等　岩元　竹一

敍從七位

◎昭和十一年七月三十一日

（各通）　陸軍航空兵少尉正八位　佐藤　正彦

海軍技手　小見川　信

任海軍技師　敍高等官七等　司法書記官從五位勳六等　船津　宏

兼任司法大臣秘書官　敍高等官三等　司法書記官兼司法大臣秘書官從五位勳六等　關　宏二郎

任判事　敍高等官三等　東京府立第九中學校教諭　村勢　一郎

任松本高等學校教授　敍高等官七等　農林技手陸軍輜重兵少尉正八位　野崎　貫一

任農林技師　敍高等官七等　朝鮮總督府逓信副事務官從六位　倉島　至

任朝鮮總督府逓信事務官　敍高等官五等　朝鮮總督府鐵道局書記從七位勳八等　高村福太郎

任朝鮮總督府鐵道局副參事　敍高等官六等　朝鮮總督府全羅北道警察部勳八等　石川宗四郎

任朝鮮總督府道警視　敍高等官七等　關東逓信官署逓信書記從七位勳七等　木下　初男

任關東逓信官署逓信副事務官　敍高等官六等　澤山汽船株式會社　東丸　新　座

任旅順工科大學教授從五位　岡　俊平

敍高等官三等　旅順工科大學助教授正六位　原　源之助

任旅順工科大學教授　敍高等官四等　岡島　三郎　富塚　剛

（各通）

任旅順工科大學助教授　敍高等官七等　朝鮮産業技師　敍高等官七等ヲ以テ待遇セラル

地方農林技師ニ任ス　高等官七等ヲ以テ待遇セラル　松丸志摩三

廣島縣屬兼廣島縣警部勳八等　大上　貞一

任地方事務官　敍高等官七等　大阪府警部勳八等　仲島　忠次

同　奥田　育造

同　大阪府警部　田中　西藏

同　稲葉　竹治

同　橋本　捧泰

（各通）

任地方警視　敍高等官八等　水野　鉉三

土木技師兼道路技師ニ任ス

高等官七等ヲ以テ待遇セラル　正七位　藤井　博溪

衛生主事ニ任ス　高等官六等ヲ以テ待遇セラル　大阪府建築技手　荒木　正巳

建築技師ニ任ス　高等官七等ヲ以テ待遇セラル　公立中學校教諭從六位　井出　彌門

師範學校教諭ニ任ス　高等官五等ヲ以テ待遇セラル　師範學校教諭從六位　井出　彌門

師範學校舍監ニ兼任ス　東京府農林技手　荒畑　忠治

栃木縣農林技手　古川　正巳

同　船山　宗太

三重縣農林技手　陸軍輜重兵伍長　伊藤　豊

山口縣農林技手　矢野　虎雄

和歌山縣農林技手　松原　正一

佐賀縣農林技手　寺町　喜一　守　大崎

（各通）

鞍山中學校教諭ニ任ス　高等官七等ヲ以テ待遇セラル　奉天第二中學校教諭　服部　興一

奉天第二中學校教諭ニ任ス　高等官七等ヲ以テ待遇セラル　安東中學校教諭　赤澤　要雄

同　安東中學校教諭　島北　三晃

安東中學校教諭ニ任ス　高等官七等ヲ以テ待遇セラル　奉天浪速高等女學校教諭　松尾　省一

奉天浪速高等女學校教諭　堀　重太

（各通）

奉天浪速高等女學校教諭從七位　東儀　文孝

陸軍輜重兵少尉正八位　谷山　哲雄

奉天浪速高等女學校教諭兼奉天浪速高等女學校舍監

奉天浪速高等女學校教諭ニ任ス　高等官七等ヲ以テ待遇セラル　水野　磬

奉天朝日高等女學校教諭ニ任ス　高等官七等ヲ以テ待遇セラル　撫順工業學校教諭　立入　武夫

高等官七等ヲ以テ待遇セラル　撫順工業學校教諭ニ任ス

高等官七等ヲ以テ待遇セラル　陸軍歩兵少佐　河越　重定

資源局事務官被免　副領事　陳　新　座

（各通）　同　吉田嘉市郎

外務省警視　福山　三雄

依願免本官　外務事務官　三好　重夫

内務事務官　赤羽　穣

陞敍高等官三等　猪俣敬次郎

同　阿賀　正美

同　社會局事務官　大橋　武夫

陞敍高等官四等　同　關東逓信官署逓信副事務官　岡　一

依願免本官

（各通）

内務理事官　田中　楢一

内務理事官兼防疫官　奥村　盈次

土木事務官　平川　浄

社會局事務官　中田　政美

陞敍高等官五等　社會局理事官　新居　五郎

（各通）　職業紹介事務局事務官　花澤　武夫

陞敍高等官六等　内務技師　木村　小市

同　青木　茂

（各通）　同　緒方　壮作

同　青井　義成

依願免本官　司法書記官兼檢事　船津　宏

免兼官　農林技師　岡本治郎平

（各通）　同　久保　健次

陞敍高等官三等　農林事務官　柴野和美夫

農林技師　原田　兵衛

同　新井　陸治

同　戸倉　莞爾

花田　乾助

馬政局事務官　笹山茂太郎

營林局事務官　石川　準吉

營林局技師　伊藤　正斌

（各通）

營林局山林事務官　遠藤治一郎

營林署技師　高島　太藏

水産試驗場技師　關　晴雄

同　川尻　稔

生絲檢査所技師　松本　茂

陞敍高等官四等　鐵道局技師　野上　潮路

朝鮮總督府鐵道局副參事　増田　擧要

同　濱崎改次郎

（各通）

朝鮮總督府道警視　谷村李治郎

同　衛藤　拳

朝鮮道立醫院醫官　岡　一

同　關東逓信官署逓信副事務官　三坂善四郎

依願免本官

第2815号

三重縣書記官　關口　勳
岐阜縣書記官　高野　長春
岩手縣書記官　伊藤　謹二
青森縣書記官　高辻　武邦
佐賀縣書記官　桃井　直美
宮崎縣書記官　引田　重夫
地方事務官　井上　文介
地方小作官　北田　武盛
地方技師　小牧利三郎
同　松浦　康秋
同　中　忠義

陞敍高等官三等

警視廳事務官　鈴木　宗正
地方事務官　中山　春男
同　盛本　完
地方視學官　平野　薫
地方警視　横山　豊太
地方小作官　横山　周次
都市計畫地方委員會技師　岩本　孝夫
都市計畫地方委員會技師兼地方技師　佐田　昌夫

陞敍高等官四等

警視廳警視　宗前　清
同　堀　隆三
同　三瓶杢三郎
警視廳技師　池口　凌
北海道廳視學官　中村　友平
地方事務官　原田　實文
同　西村　憲治
同　神田　博

（各通）

同　塩原　三郎
同　早田　成雄

陞敍高等官五等

警視廳警視　津崎　常吉
同　眞木　吉彌
北海道廳事務官　大川　義男
同　高尾　善次
地方事務官　長尾　菊雄
同　葛西　彌六
同　高原　早雄
地方警視　武内　征平
同　吉田　政市
同　大久保久四郎
同　三木　爲市
同　本間市太郎
同　永山宗五郎
同　小田　重義
同　小田部秀雄
同　矢野　政夫
同　高嶺伊五郎
地方小作官　小島利太郎
同　間島　一臣
同　平林　文雄
同　佐藤　馨
同　宮城　桃幸
同　白根　綽
同　竹重　貞藏

陞敍高等官六等

警視廳警視　柳瀬　芳松
警視廳消防司令　池田　幸藏
同　須加　景樹
北海道廳警視　濱崎貞二郎
地方警視　秋月　清秀
同　岡島　安治
同　御前　一男
同　伊與田數實
同　丸山　信次
同　竹之内金次郎

（各通）

同　小沼　靜
同　富川小一郎
同　武内　直治
同　德增重太郎
同　加々美　輝
同　百瀬　廣一
同　千葉與左衛門
同　湯淺　傳次
同　稲毛　一郎
同　久保田又男
同　宇藤伊太郎

陞敍高等官七等

地方事務官　和田理一郎
地方警視　田村　吉秀
同　澤邊金三郎
同　眞木益太郎
同　村主　正次
同　藤井　埻溪
地方技師　藤田　周造

（各通）

土木技師　竹村　俊一
土木技師兼道路技師　後藤　新
衛生技師　三ケ尻暉等
同　齋藤　楷夫
同　江本　七福
防疫醫　小野　榮

陞シテ高等官三等ヲ以テ待遇セラル

道路主事兼土木主事　滋井善十郎
道路技師　目黒　清雄
道路技師兼土木技師　安井與三八
同　原田　民部
同　田中　俊一
同　西岡篤太郎
同　山田　安三
土木技師兼道路技師　吉田　誠之
同　池内　直義
同　草川　清康
同　松浦　孝一
同　安達　晴雄

（各通）

同　衛生技師　是石　登
同　三雲隆三郎
同　宮脇　貢
同　久野末治郎
同　永井　環
同　佐々木孝乙
同　河村　一
防疫醫　兒玉　利國
同　渡邊　邊
同　麻生　介

陞シテ高等官四等ヲ以テ待遇セラル

道路技師　武田　義明
同　網谷安次郎
道路技師兼土木技師　河合　清二
同　佐藤　義正
同　小林　庄平
土木技師　前田　豐黛
土木技師兼道路技師　根井　友信
衛生技師　中川治一郎
同　矢内　順壽
同　城　龍吉
建築技師　江口　胤治
同　松野　敏政
同　尾崎　恒人
地方警察技師　岡田孫一郎

陞シテ高等官五等ヲ以テ待遇セラル

道路主事　平野　德松
道路技師兼土木技師　梅澤　景秀
同　松田勘次郎
同　岡本　但夫
土木主事　島村　信
同　野上　義雄
同　村上　正
同　川村庄五郎
土木技師兼道路技師　田中　精一
衛生主事　椎原　民
衛生技師　長者　尚德
同　八木　富一

（各通）

同　青木　昌吉
同　丸山　一郎
同　大河原柳司
同　佐藤不二夫
同　小林不二夫
同　上井勇次郎
同　西郷　親盛
同　建築技師　長野金太郎
同　竹中　景一
同　淺野　新一
同　今津　重藏
臨時海港檢疫醫　山口　雄三
療養所主事　石橋　伊八
道府縣立少年教護院教諭　池田　實道

陞シテ高等官六等ヲ以テ待遇セラル

道路技師兼土木技師　猪瀨　寧雄

陞シテ高等官七等ヲ以テ待遇セラル

衛生主事　上田　省吾
公立高等女學校教諭　木暮　兵一
地方農林主事　林　久四郎
同　山田與之助
地方農林技師　袴田　輔明
同　川又　般則
同　塩澤虎馬雄
同　瀧川　錄郎
朝鮮土木主事　滿田　賢三
朝鮮土木技師　矢野　眞鄕

（各通）

朝鮮總督府黃海道鳳山郡沙里院邑長　福村　清治
朝鮮總督府慶尚北道慶州郡陽北面長　鄭　琥　永
朝鮮總督府忠清北道忠州郡忠州邑長　松井　文輔

願ニ依リ本職ヲ免ス

奏任官ヲ以テ待遇セラル

撫順普通學校長　石原　貞次
撫順東七條臺高等小學校長　山本　正
（各通）
奉天春日臺常小學校長　白根　卓
鞍山大官臺常小學校長　南部佐太郎

高等官八等ヲ以テ待遇セラル（以上昭和十一年內閣）

故陸軍砲兵大尉正七位　飯尾　正男
特旨ヲ以テ位一級追陞セラル（以上昭和十一年宮內省）
地方警視　磯島　三郎

十級俸下賜

補滋賀縣大津警察署長　中谷廣太郎
大阪府泉北郡高石町會議員　小林　春造
都市計畫大阪地方委員會委員　櫻井八代吉
高崎市會議員　西村助四郎
同　山本與平次
同　群馬縣吾妻郡草津町會議員　山本與平次
都市計畫群馬地方委員會委員ヲ命ス　地方事務官　大崎　範一
都市計畫群馬地方委員會幹事ヲ命ス　豐橋市會議員　林　品次
都市計畫愛知地方委員會委員ヲ命ス　足立　俊治
都市計畫青森縣下北郡大畑町會議員ヲ命ス　地方事務官　岡田　光藏
都市計畫青森地方委員會委員ヲ命ス　岡山縣兒島郡味野町會議員　中塚　幹介
都市計畫石川地方委員會幹事ヲ免ス
都市計畫岡山地方委員會委員ヲ命ス　宇部市會議員　上田　久
都市計畫山口地方委員會委員ヲ命ス　小倉市會議員　吉田　藏平
同　吉本　武治
同　富永　趙彥
同　潮下　季男
同　前田　一郎
同　徐　載　淳

（各通）

都市計畫福岡地方委員會委員ヲ命ス（以上昭和十一年內務省）
地方事務官　大上　貞一

八級俸下賜

廣島縣勤務ヲ命ス　同　和田理一郎

五級俸下賜

補大阪府新町警察署長　地方警視　目黑貫之助

補大阪府島之內警察署長　同　岡田　磯
九級俸下賜
補大阪府天滿警察署長　同　田中　酉藏
補大阪府難波警察署長　同
補大阪府九條警察署長　同
補大阪府朝日橋警察署長　同
補大阪府戎警察署長　同
補大阪府福島警察署長　同
補大阪府泉尾警察署長　同
補大阪府川口警察署長　同
補大阪府堺警察署長　同
十級俸下賜
補大阪府今宮警察署長　同　渡邊　壽次
補大阪府玉造警察署長　同　山崎　石雄
十級俸下賜
補大阪府堺警察署長　同　下出　一雄
十級俸下賜
補大阪府岸和田警察署長　同　小林又次郎
十級俸下賜
補大阪府泉尾警察署長　同　柴山　志郎
十級俸下賜
補大阪府福島警察署長　同　迫本　義男
十級俸下賜
補大阪府川口警察署長　同　橋本　捧泰
十級俸下賜
補大阪府堺警察署長　同　稻葉　竹治
十級俸下賜
補大阪府今宮警察署長　同　仲島　忠次
十級俸下賜
補大阪府玉造警察署長　同　奥田　青造
十級俸下賜
補大阪府岸和田警察署長　同　藤井　埻溪
七級俸下賜　同　澤邊金三郎
（各通）
八級俸下賜　同　眞木益太郎
二級俸下賜　同　村主　正次
土木技師兼道路技師　水野　鉉三
富山縣土木技師兼富山縣道路技師ニ補ス

大阪府建築技師ニ補ス　建築技師　荒木　正巳
衛生主事ニ補ス（以上昭和二同）　衛生主事　藤井　埻溪
大阪府衛生主事ニ補ス（以上昭和二同）
（各通）
陸軍騎兵大佐　吉田　愚
陸軍砲兵大佐　木村兵太郎
陸軍高等軍法會議判士ヲ免ス
陸軍工兵大佐　市橋　弘助
後備役被仰付（以上昭和二陸軍省）
陸軍砲兵大佐　湯淺榮次郎
免兼職
免兼海軍水雷學校教官　沖島鑛裝員兼第二十三驅逐隊附海軍軍醫大尉　嶺崎　巖
免兼職
第十三驅逐隊附海軍軍醫中尉　今泉　朗
吳鎭守府附被仰付
第十四驅逐隊附海軍軍醫中尉　高田　一郎
吳鎭守府附被仰付
（各通）
第四驅逐隊附海軍軍醫中尉　高村　鋼
同　正田　文雄
第十六驅逐隊附海軍軍醫少尉　嶽川澤昌彥
吳鎭守府附被仰付
沖島鑛裝員兼第二十三驅逐隊附海軍主計大尉　神上園治平
免兼職
吳海軍工廠砲熕部部員兼海軍技手養成所教官　秦　千代吉
吳海軍工廠附海軍技師
免兼海軍技手養成所教官
海軍艦政本部附兼海軍技術研究所附海軍技師　松井　晋作
免兼職兼補吳海軍工廠附
吳海軍工廠附海軍技師　古賀　米作
兼補海軍技手養成所教官（以上昭和二海軍省）
山城乘組海軍特務少尉　樋口德次郎
補横須賀海兵團教官（以上昭和二横須賀鎭守府）
海軍機關特務中尉　奥山　市平
待命被仰付（以上昭和二同）
桐生高等工業學校教授　島田　慶一
三級俸下賜
名古屋高等工業學校教授　松良　正一
四級俸下賜

特 28875 号

（零通）東京帝國大學教授 中村左衛門太郎
同 西澤恭助
賜本俸五級俸
賜本俸六級俸 同 山口彌輔
賜本俸六級俸 東北帝國大學助教授 兔島常人雄
本俸二級俸下賜 同 市柳長三
本俸八級俸下賜 同 蒔時冨彌
本俸九級俸下賜 同 鶴島攻治
本俸十級俸下賜 岡山醫科大學教授 三輪盛弘
五級俸下賜 千葉醫科大學教授 緒方規雄
賜本俸二級俸 同 伊東彌重治
（零通）同 赤嶺茂
賜本俸三級俸 聚崎醫科大學教授 植田忠三
六級俸下賜 京都帝國大學助教授 鈴木健弘
賜三級俸 京都帝國大學教授 見波定治
三級俸下賜 水戸高等學校教授 藤澤誠
七級俸下賜 師範學校教諭兼師範學校舍監 彌門
師範學校教諭兼師範學校舍監 非出
長野縣師範學校教諭兼長野縣師範學校舍監 坂元盛秋
＝補ス
兵庫縣立赤穂中學校教諭 坂元盛秋
賜本俸二級俸 同 野津龍三郎
賜本俸六級俸 京都帝國大學助教授 阿部清
本俸二級俸下賜 同 大塚一則
本俸七級俸下賜
（零通）東北帝國大學教授 中村左衛門太郎
同 西澤恭助
賜本俸五級俸
賜本俸六級俸 同 山口彌輔
賜本俸六級俸 東北帝國大學助教授 兔島常人雄
本俸二級俸下賜 同 市柳長三
本俸八級俸下賜 同 蒔時冨彌
本俸九級俸下賜 同 鶴島攻治
本俸十級俸下賜 岡山醫科大學教授 三輪盛弘
五級俸下賜 千葉醫科大學教授 緒方規雄
賜本俸二級俸 同 伊東彌重治
（零通）同 赤嶺茂
賜本俸三級俸 聚崎醫科大學教授 植田忠三
六級俸下賜 京都帝國大學教授 鈴木健弘
賜三級俸 京都帝國大學教授 見波定治
三級俸下賜 水戸高等學校教授 藤澤誠
七級俸下賜 師範學校教諭兼師範學校舍監 非出
師範學校教諭兼師範學校舍監 彌門
長野縣師範學校教諭兼長野縣師範學校舍監 坂元盛秋
＝補ス
兵庫縣立赤穂中學校教諭 坂元盛秋
＝補ス
賜本俸二級俸 同 橋本文一
兵庫縣立中學校教諭＝補ス（以上詳記同）
九級俸下賜 鐵道局技師 野上潤路
名古屋鐵道局副參事 ヲ命ス（詳記鐵道省）
仙臺鐵道局副參事 富田力太郎
ヲ命ス（詳記同）
十級俸下賜（詳記兵庫縣） 地方農林技師 瀨古秀生
賜本俸六級俸 同 中島光三
十二級俸下賜（詳記同） 測候技師 櫛稿嘉市
十一級俸下賜（詳記同） 建築技師 內藤亮一
十一級俸下賜（詳記同） 地方農林技師 牧野亮一
四級俸下賜 主水技師兼道路技師 尾內吉郎
七級俸下賜 地方農林技師 神谷非博
九級俸下賜 同 西岡磬
（零通）同 尾崎卓穩
十級俸下賜 社會事業主事 脇坂作太郎
（零通）地方農林技師 川那部治良
十一級俸下賜 同 青木常昭
年俸七百圓下賜（以上詳記同） 石川金太郎
賜三級俸 公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十一年
三級俸下賜 見波定治
下賜（詳記同） 公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十一年
四月三十日ヨリ年功加俸年額金百四拾四圓
十一級俸下賜（詳記同） 主水主事 津久井常五郎
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十一年
六月十日ヨリ年功加俸年額百四拾四圓下賜（詳記奈良縣） 公立學校教諭 山近進
（零通） 公立中學校教諭 井上嘉三郎
公立高等女學校長 田辺三郎
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十一年
七月十七日ヨリ年功加俸年額百九拾六圓下賜
（零通） 公立中學校長 清瀬業次郎
公立高等女學校長 岩井善之助
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十一年
七月十七日ヨリ年功加俸年額百九拾六圓下賜
賜 同 中島光三
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十一年
七月十七日ヨリ年功加俸年額九拾六圓下賜
（以上詳記同） 地方農林技師 峰谷準
十一級俸下賜（詳記岡山縣）

宮廷錄事

◎御安著 天皇陛下ハ去月二十日午後一時三五十五分御出門同二時五分東京驛御發車同時三十分東山御用邸ニ御安著アラセラレタリ

彙報

○官廳事項

◎昇級 關東州小學校長（奏任待遇）關東州小學校訓導竹下誠一郎同中川安三郎同小高兵司ハ本年三月二十一日附級俸三級俸ニ昇級セリ

○警察

◎驛約出版禁止 驛約出版ハ去月二十日發行ノ驛約出版ヲ賜出テタルモノニ付之ヲ禁ス（愛知縣）

發行所 東京市麻布區中大町百四十八番地ノ一 印刷所 昭和印刷株式會社 昭和十一年八月三日

○海事

◎水路告示第三十號

（九一四頁……九三九頁）

昭和十一年八月一日

水路部長 太田垣信二郎

1. 艦船水路告示ヲ受領シタルトキハ速ニ其ノ關係圖誌ヲ改補スルヲ要ス、但シ一時關係或ハ豫告告示ハ鉛筆記入ヲナスカ又ハ告示紙片ヲ適當ノ箇所ニ貼附シ置クモノトス
2. 方位ハ眞方位（0° ヨリ 360° ニ至ル）ヲ用ヒ要スレハ之ニ對スル磁針方位ヲ括弧內ニ記ス
3. 時刻ハ秒位ヲ示ス必要アルモノ外 0000 ヨリ 2400 ニ至ル數字 4 箇ヲ以テ示ス 24 時間式ヲ使用ス
4. 項數ニ附記セル＊符ハ該事項ニ關シ既ニ告示（豫告或ハ一時關係）セルモノナルコトヲ示ス
5. 注意或ハ誌類欄ニ＋符ヲ附記セルハ該關係書誌改補用トシテ別紙ヲ使用スヘキヲ示ス
6. 航海上現行圖誌ノ改補ヲ必要トスル事項又ハ海上ノ危險ヲ發見シタルトキハ速ニ其ノ當事者ヨリ水路部（東京市京橋區築地五丁目）ニ直接通報アランコトヲ希望ス
   （本記事ハ毎月頭ノ告示ニノミ附記ス）
7. 水路告示（合冊セルモノ 1 部）ハ特ニ指示スルモノヲ除キ其ノ保存期間ヲ 5 箇年トシ該期間ヲ經過セルモノハ受領者ニ於テ適宜之ヲ處分スルモノトス

注意

○水路告示ハ毎週土曜日（公休日ニ當ルトキハ翌曜日）ノ官報ニ掲載ス但シ別紙ノ官報掲載ハ之ヲ省略ス

○當部刊行ノ圖誌類ハ下記ニ於テ販賣ス

日本郵船株式會社東京本社○横濱、名古屋、大阪、神戸、門司、長崎、上海ノ 7 支店○函館、基隆、小樽、釜山ノ 4 代理店及大連出張所○日本船主協會（神戸）

○本告示印刷物、水路報告用紙及航海報告用紙ハ上記ノ圖誌販賣所ニ備ヘ置キ無代價ニテ要望ニ應ス

○下記各港ノ各國水路告示閱覽所ニハ一般航海者ノ閱覽ニ供スル爲當部水路告示ヲ送付シアリ

港名	場所
横濱	横濱稅關港務部
大阪	大阪稅關港務部
神戸	神戸稅關港務部
門司	門司稅關港務部
長崎	長崎稅關港務部
函館	札幌遞信局海事部
室蘭	室蘭市役所
基隆	臺北州港務部
釜山	朝鮮總督府遞信局釜山海事出張所
仁川	同仁川海事出張所
大連	關東廳港務局

港名	場所
Hongkong (S. China).	Harbour Department.
Bangkok (Siam).	The Harbour Master.
Manila (Luzon).	U. S. Coast and Geodetic Survey Field Station, Intendencia Building, Manila.
Balik Papan (Borneo).	The Harbour Master.
Tanjong Priok (Java).	The Harbour Master.
Surabaya (Java).	The Harbour Master.
Bombay (India).	Headquarters Royal Indian Marine.
Karachi (India).	The Principal Officer, Mercantile Marine Department.
Madras (India).	The Principal Officer, Mercantile Marine Department, Old High Court Building, 1st Line Beach.
Durban (Port Natal). (South Africa).	Shipping Master at the Point Custom, Point, Port Natal.
Cape Town (South Africa).	The Port Captain, Cape Town.
Fremantle (Australia).	Deputy Director of Navigation & Lighthouses, W. A., Fremantle.
Sydney (Australia).	Deputy Director of Navigation & Lighthouses, N. S. W., Custom House, Sydney.
Auckland (New Zealand).	Mercantile Marine Government Build., Customs Str.
Wellington (New Zealand).	Mercantile Marine Office.
Honolulu (U. S. A.).	Old Naval Station.
Vancouver (B. C.).	Pilotage Office.
Victoria (B. C.).	Pilotage Office.
Prince Rupert (B. C.).	Collector of National Revenue.
Seattle (U. S. A.).	Branch Hydrographic Office.
Portland, Oreg. (U. S. A.).	Branch Hydrographic Office.
San Francisco (U. S. A.).	Branch Hydrographic Office.
San Pedro (U. S. A.).	Branch Hydrographic Office.
Mexique (Mexico).	Secretria de Communicaciones y Obras Publicas, Departomento de Marina Mercante y Faros de Mexico, Mexico.
Cristobal (Panama).	Port Captain, Cristobal, Canal Zone.
Valparaiso (Chile).	Officina de Informacions Para la Marina Mercante.
Rio de Janeiro (Brazil).	Directoria de Navegaño Ilha Fiscal.
Pará (Belém) (Brazil).	Port Office.
Pernambuco (Recife) (Brazil).	Port Office.
New York (U. S. A.).	Branch Hydrographic Office.
Portsaid (Egypt).	Bureau du Capitaine du Port.
Piraeus (Greece).	Capitainerie du Port.
Salonique (Greece).	Capitainerie du Port.
Barcelona (Spain).	Autoridad Maritima del Puerto.
Malaga (Spain).	Autoridad Maritima del Puerto.
Gibraltar (Gibraltar).	Port Office.
Le Havre (France).	La Direction Générale du Port Autonome du Port.
Antwerp (Bergium).	Pilotage, Marché du Blé Zélande.
Rotterdam (Netherland).	Harbour Master's Office.
Bremen (Germany).	Berichtigungasstelle "Seekarte" G. M. B. H., Contrescarpe 206.
Hamburg (Germany).	Deutsche Seekarten Berichtigungs—Institut, Herrngraben Javahaus.
Holtenau (Germany).	Seekartenberichtigungastelle, Holtenau bei Kiel.
Bristol (England).	Haven Master's Office.
Gdynia (Danzig) (Poland).	Kapitanat Portu. (Pologne.)
Stokholm (Sweden).	Hamnkontoret.
Oslo (Norway).	Oslo Havnevesen, Havneopsynet.

第 2875 号 本文

○此ノ告示印刷物ハ下記各所ニモ送付シアリ、航海者ハ隨時閲覽スルヲ得ヘシ

港名	場所
函館	海員協會函館出張所
小樽	海員協會小樽出張所
東京	東京市役所港灣部港務所 日本海員救濟會
横濱	燈臺局 海員協會横濱出張所
清水	港務所
名古屋	港務所
大阪	市役所港灣部築港事務所 市設海員「ホーム」 海員協會大阪出張所
神戸	海洋氣象臺 海員協會
廣島	陸軍運輸部本部
若松	海員協會若松出張所
八幡	日本製鐵株式會社八幡製鐵所總務部
鹿兒島	稅關支署
三角	稅關支署
三池	稅關支署 三井鑛山株式會社港務所
唐津	稅關支署
毀原	稅關支署
基隆	臺灣海務協會
高雄	高雄州港務部 臺灣海務協會高雄支部
清津	海事出張所 海事會支部
城津	稅關支署
元山	海事出張所 海事會支部
釜山	海事會支部
木浦	海事出張所 海事會支部
仁川	稅關 海事會支部
京城	遞信局海事部
鎭南浦	海事出張所
新義州	海事出張所 海事會支部
大連	滿鐵埠頭事務所
旅順	同上旅順支局
サイパン	南洋廳サイパン支廳
パラオ	南洋廳

○アレキサンドロフスク總領事館オハ分館、ヴラヂヴォストク總領事館、安東領事館、營口領事館、天津總領事館、芝罘領事館、青島總領事館、上海總領事館、南京總領事館、蘇湖領事館、九江領事館、漢口總領事館、福州總領事館、厦門領事館、汕頭領事館、香港總領事館、廣東總領事館、ハノイ總領事館、サイゴン領事館、バンコック總領事館、シンガポール總領事館、ラングーン領事館、カルカタ總領事館、コロンボ領事館、ボンベイ領事館、マニラ總領事館、ダヴァオ領事館、バタヴィア總領事館、スラバヤ領事館、シドニー總領事館、ホノルル總領事館、ヴァンクーヴァー領事館、シャトル領事館、ポートランド領事館、サンフランシスコ總領事館、ロスアンゼルス領事館、パナマ領事館、○駐日各大公使領事館○締盟諸外國水路部

●11年914頁＊

本洲北西岸—仁萬港　燈臺點燈開始

記事　10年352頁ヲ以テ設置ノ旨豫告セル「仁万港東防波堤燈臺」ハ昭和11年8月10日點燈開始セラル

位置　Lat. 35° 09′ 30″ N.　Long. 132° 24′ 06″ E.

略記　F. *11m.* 11½ M. (U)

細目　燈質不動白光●燈高平均水面上11.2米●光達11.5浬●閃光數1,800（電燈）、等級無等●明弧全度●構造白塗圓形コンクリート造、礎上高6.1米●無看守●島根縣立

海圖　149

誌類　†誌1B. 40頁——†誌100A. 438番a（挿入）——10年352頁（削除）

出所　昭和11年7月22日官報遞信省告示第1757號

●11年915頁（一時關係）

本洲東岸—釜石港口　燈標點燈休止

記事　釜石港口中根燈標（閃紅光）ハ昭和11年7月26日ヨリ向フ約30日間點燈ヲ休止セラル

位置　釜石港口南中根上
Lat. 40° 15′.8 N.　Long. 141° 54′.4 E.（概位）

略記　Fl. *R. ev. 3sec. 11m.* 6M. (U)

海圖　71

誌類　誌1A. 257頁——誌100A. 187番

出所　燈臺局

●11年916頁（一時關係）＊

神戸港—第1航路東方　沈船撤去

記事　11年894頁ヲ以テ告示セル神戸港第3區第1航路東方約1,250米ニ於ケル沈没帆船ハ撤去セラレタリ

位置　東防波堤ノ2南燈臺（群閃白光）ヨリ　99½°　1,150米
Lat. 34° 39′.1 N.　Long. 135° 13′.2 E.（概位）

海圖　101——1103——150——106

前告示　誌2.98頁貼附ノ11年894頁（削除）

出所　神戸稅關港務部

●11年917頁（豫告）

內海　周防灘—宇部港　燈臺設置

記事　宇部港東防波堤西端ニ「宇部港東防波堤燈臺」及南防波堤東端ニ「宇部港南防波堤東燈臺」ヲ設置シ近ク點燈ヲ開始スト謂フ

(1)宇部港東防波堤燈臺

位置　東防波堤西端
Lat. 33° 56′.1 N.　Long. 131° 14′.6 E.（概位）

略記　Fl. *R. ev. 3sec.* 8M.（豫告）

細目　燈質閃紅光、每3秒ニ1閃●光達8浬●明弧全度●構造紅塗、上部鐵造四角形櫓、下部コンクリート造四角形

(2)宇部港南防波堤東燈臺

位置　南防波堤東端
(1)位置ノ西方約50米

略記　Fl. *ev. 3sec.* 8½M.（豫告）

細目　燈質　閃白光、每3秒ニ1閃●光達8.5浬●明弧全度●構造白塗、上部鐵造四角形櫓、下部コンクリート造四角形

海圖　127——1101——100B

誌類　誌2.285頁——誌100A.60頁

出所　遞信省管船局

●11年918頁

內海　下關海峽—門司港　繫船浮標位置改記等

記事　門司港第2區內第4號繫船浮標ヲ現圖載位置ノ西北西方約50米ニ改記ス

位置　港務部內報時球○ヨリ　272°　1,190米
Lat. 33° 56′.4 N.　Long. 130° 56′.9 E.（概位）

注意　上記第4號繫船浮標ノ東方約470米ニ圖載シアル第8號繫船浮標ハ修理ノ爲當分ノ間撤去中ナリト謂フ

海圖　128——1225——135

誌類　誌2.291頁

出所　門司稅關港務部

●11年919頁（一時關係）＊

下關海峽—大瀨戸　浚渫工事用挂燈浮標位置變更

記事　11年728頁ヲ以テ碇置ノ旨告示セル金ノ弦岬沖浚渫工事用A及B挂燈浮標ハ昭和11年8月10日頃下記位置ニ移設セラレ昭和12年3月末日迄存置ノ豫定ナリト謂フ

(1)A挂燈浮標

位置　金ノ弦岬燈臺ヨリ　199°　810米
Lat. 33° 54′.1 N.　Long. 130° 54′.6 E.（概位）

略記　Fl. *ev. 3sec.* 8M.

細目　燈質閃白光、每3秒ニ1閃●燈高水面上3.7米●光達8浬●閃光數100●構造黑白横線塗截頂圓錐形、上部櫓形、鐵造

(2)B挂燈浮標

位置　金ノ弦岬燈臺ヨリ　168°　840米
Lat. 33° 54′.0 N.　Long. 130° 54′.9 E.（概位）

略記　Fl. *ev. 3sec.* 8M.

細目　構造　紅白横線塗截頂圓錐形、上部櫓形、鐵造●其ノ他A浮標ニ同シ

注意　兩浮標共上記位置ヲ中心トスル半徑100米ノ圓內ニ於テ隨時移動スルコトアルヘシ

海圖　1226——135

誌類　誌2.296頁——誌2.296頁及誌100A.66頁貼附ノ11年728頁（削除）

出所　內務省下關土木出張所

●11年920頁

四國南岸—浦戸港　船舶航行並ニ碇泊禁止

記事　浦戸港口沖ノ鼻西方下記位置ヲ中心トスル半徑100米ノ區域內ハ修築工事竣功迄一般船舶ノ航行並ニ碇泊ヲ禁止セラル

位置　蛭子堂△(10)ヨリ　41½°　305米
Lat. 33° 29′.9 N.　Long. 133° 34′.7 E.（概位）

注意　(1)海圖上上記位置ヲ中心トシ半徑100米ノ圓圈ヲ斷線ヲ以テ盡キ區域內ニ「航行碇泊禁止」ヲ記載ス

(2)沖ノ鼻東方約180米ノ立標ヲ中心トスル半徑50米ノ區域內モ修築工事中一般船舶ノ航行並ニ碇泊ヲ禁止セラレアリ

(3)海圖上上記立標ニ附記シアル「紅燈」ヲ削除ス

(4)書誌1號A.191頁3行中「沖ノ鼻東方燈標」ヲ「沖ノ鼻東方立標」ニ改記シ、同4行中「夜間ハ其ノ頂上ニ不動紅光ヲ點ス」ヲ削除ス

(5)書誌1號A追.25頁13行「191頁4行」欄記事ヲ削除ス

海圖　110（分圖共）

誌類　†誌1A.190頁——（注意(4)）誌1A.191頁——（注意(5)（昭和11年7月刊行））誌1A.追、25頁

出所　昭和11年7月4日高知縣令9號、10號

●11年921頁

事項消滅ニ付削除ス

●11年922頁（一時關係）

九州北岸　若松港—外港　沈船存在

記事　昭和11年7月22日若松港第4號航路浮標附近航路ニ於テ汽艇1隻沈没シ艇首ヲ南方ニ向ケ檣ヲ約2米水面ニ露出スト謂フ

位置　第4號航路浮標ノ南方　約100米
Lat. 33° 55′.6 N.　Long. 130° 49′.9 E.（概位）

海圖　171——135——201

誌類　誌2.304頁

出所　汽船第2筑紫丸

●11年923頁

臺灣北岸—基隆港　燈標光達等變更、改稱

記事　桶盤嶼燈標ハ光達、閃光數ヲ變更ノ上「桶盤嶼南燈標」ト改稱セラレタリ

位置　桶盤嶼西端
Lat. 25°　09′.7 N.　Long. 121° 44′.9 E.（概位）

略記　Gp. Fl. (2) *G. ev. 5sec.* 8$_3$*m.* 8½M. (U)

細目　光達8.5浬●閃光數55●其ノ他從前通

注意　(1)書誌5號138頁18行、19行及21行（11年809頁貼附訂正紙11行、12行及14行）及139頁22行中「桶盤嶼燈標」ヲ「桶盤嶼南燈標」ニ改ム

(2)書誌100號A.702番a桶盤嶼北燈標礎上高欄"—"ヲ"(12)"ニ改記ス

海圖　230——1217

誌類　（注意1）誌5.133頁及139頁——†誌100A.703番——（注意2）誌100A.702番a

出所　臺灣總督府交通局

●11年924頁（一時關係）

朝鮮西岸—鴨綠江　地質調査施行

記事　安東縣下流六道溝附近ヨリ三道浪頭錨地附近ニ至ル鴨綠江河中並ニ江岸ニ於テ地質調査ヲ施行セラル　航行船舶ハ注意ヲ要スト謂フ

位置　六道溝（Lat. 40° 06′. 0 N.　Long. 124° 22′.6 E.　概位）
三道浪頭錨地（Lat. 40° 02′.2 N.　Long. 124° 22′.0 E.　概位）

作業期間　昭和11年7月15日至昭和11年10月15日

標識　作業船ハ晝間ハ紅白方形旗ヲ、夜間ハ紅燈1箇ヲ檣頭ニ掲揚ス

海圖　350（參照）

誌類　誌6B. 267頁

出所　康德3年7月15日滿洲國安東航政局告示22號

●11年925頁（一時關係）

關東州　大連港　甘井子區—第2埠頭先端附近　海底岩盤爆碎作業施行

記事　南滿洲鐵道株式會社ニ於テハ甘井子第2埠頭擴張工事ノ爲該埠頭外端附近ニ於テ晝間ニ限リ海底岩盤爆碎作業ヲ施行ス、附近航行船舶ハ注意ヲ要ス

位置　大連港甘井子第2埠頭外端附近
Lat. 38°　57′.55 N.　Long. 121°　37′.55 E.（概位）

作業期間　昭和11年7月14日至同10月30日間

標識　爆發物使用中ハ見易キ箇所ニ紅旗ヲ揭ケ危險區域ヲ標示セラル

海圖　380——396——369

誌類　誌12B. 256頁

出所　昭和11年7月21日關東局局報229號公告欄

●11年926頁

遼東灣—遼河口　導燈燈質變更

記事　門洲導燈高燈（不動白光）ノ燈質ハ昭和11年7月20日ヨリ明暗白光ニ變更セラレタリ

位置　南東立標ノ東方　約1,480米
Lat. 40° 36′.0 N.　Long. 122° 10′.0 E.（概位）

略記　Occ. *ev. 6 sec. 26 m.*

燈質　明暗白光、每6秒ニ1光（明4秒、暗2秒）

海圖　354——1404

誌類　†誌100A. 1289番——11年452頁(2)(ハ)

出所　康德3年滿洲國營口航政局告示第8號

●11年927頁

渤海—龍口港　航路標識移設

(1)記事　龍口港門洲浮標（球形頭標附黑塗圓柱）ハ圖載位置ノ西方約1.4鏈ニ、內浮標（黑塗圓柱）ハ同南方約0.8鏈ニ位置變更セラレタリ

位置　龍口海關旗竿○（Lat. 37° 38′.7 N. Long. 120° 20′.6 E.　概位）ヨリノ

	方位（度）	離距（浬）
(イ) 門洲浮標	243	1.42
(ロ) 內浮標	236	1.07

樣式　（イ）（ロ）共從前通

(2)記事　龍口港門洲導燈（高、低燈共不動紅光）ハ下記ノ通改設セラレタリ

位置　（ハ）門洲導燈低燈
(1)ノ旗竿○ヨリ　165°　5.5鏈
Lat. 37° 38′.2 N. Long. 120° 20′.8 E.（概位）

（ニ）門洲導燈高燈
（ハ）ヨリ　84°　2.0鏈

略記　F. *R.*（高、低燈共）

細目　各從前通

注意　海圖上上記導燈位置及指導線ヲ改記シ舊指導線ニ附記シアル「2燈一線」ヲ新指導線ニ沿フ「2燈—線84°」ニ改メ且8年995頁ヲ以テ Lat. 37° 38′.0 N. Long. 120° 19′.1 E.（概位）ニ記載ノ「水深減少ス（1933年）」ヲ削除ス

海圖　375

誌類　†誌12B. 106頁——8年312頁、995頁、1223頁、9年1088頁（各削除）

出所　1936年上海海關告示1086號

●11年928頁

Sumatra 東岸　Kateman River 河口　沈船存在

記事　Kateman River 河口東方ニ舷沈没シ水面上ニ約10米檣ヲ露出シ居レリト謂フ

位置　S. Teriti 河口ノ北方　約3浬
Lat. 0° 20′ 30″ N.　Long. 103° 42′ 00″ E.

注意　海圖上上記位置ニ 符ヲ記載シ"(P. A.)（1936年）"ヲ附記ス

海圖　629——586

誌類　誌16.242頁

出所　1936年Batavia告示41頁

●11年929頁

圖誌訂正

(1)海圖153號

內海備後灘　南濱川之江港　西防波堤燈臺（Lat. 34°01′.0 N.　Long. 133° 34′.4 E.　概位）及東防波堤燈竿ノ各略記ニ"(U)"ヲ追記ス

(2)海圖154號（分圖）——137號A

內海宇野港野兒島（葬天島）東端（Lat. 34° 29′. 1 N.　Long. 133° 57′.2 E.　概位）ニ圖載セル宇野港燈竿ノ略記ニ"(U)"ヲ追記ス

(3)海圖162號

日本海北側 Askolid Strait Unkovskogo 燈竿（Lat. 42° 48′.9 N.　Long. 132° 22′.0 E.　概位）ノ略記"Fl. *R.*"ヲ"Fl."ニ改ム（海圖273號參照）

第2875号 本文

(4)海圖 281 號——258號——274號

日本海北側 Port Vladivostok 港口西側 Tokarevskii 燈臺 (Lat. 43° 04′. 4 N. Long. 131° 50′.7 E. 概位) ニ略記中 "F." ヲ "Fl." ニ改ム(書誌 100 號A. 1158 番參照)

(5)海圖 378 號

青島港小港 北東側 (Lat. 36° 04′.5 N. Long. 120° 18′.5 E. 概位) ニ築造セル第 2 浮棧橋ヲ其ノ先端ノ燈及附近ノ水深ト共ニ 別紙貼附圖(1 面)ニ依リ海圖ニ記載ス(青島駐在海軍武官)

(6)海圖 668 號(分圖共)

Philippine Is. Mindanao 北岸 Misamis Pt ヨリ 73° 1.2 浬 (Lat. 8° 09′.0 N. Long. 123° 51′.7 E. 概位) ニ紅塗圓錐形浮標ヲ記載ス(海圖 1616 號參照)

(7)海圖 1101 號

內海周防灘 北東西浦港 燈竿(Lat. 34° 00′.4 N. Long. 131° 30′.6 E. 概位)ノ略記ニ "(U)" ヲ追記ス

(8)海圖 1131 號

內海「クダロ」島燈臺(Lat. 33° 58′.0 N. Long. 132° 34′.0 E. 概位)ノ略記ニ "(U)" ヲ追記ス

(9)海圖 1268 號(分圖共)——1262 號——1252 號

朝鮮南岸統營港海坪洞海岸 (Lat. 34° 49′.8 N. Long. 128° 25′.2 E. 概位) ニ於ケル埋立工事中區域ヲ別紙貼附圖(4 面)ニ依リ 海圖ニ記載ス(朝鮮總督府)

(10)書誌 90 號A.

(イ)第 11 回挿換紙(目次 3 頁至 5 頁削除、3 頁至 6 頁挿入)ヲ頒布ス所要ノ向ハ水路圖誌販賣所ヨリ交付ヲ受クルコトヲ得

(ロ) 37 頁 2 行(昭和 11 年 2 月 1 日官報遞信省令第 6 號迄改正)ヲ別紙貼附ニ依リ訂正ス

(ハ) 38 ノ 1 頁末行中「昭和 11 年」ヲ「昭和 4 年」ニ改ム

(ニ) 253 頁 横須賀 軍港細則中 第 46 條ノ次ニ別紙(1)ニ依リ第 46 條ノ 2 ヲ挿入ス(昭和 11 年 7 月 24 日横須賀鎮守府公報令達欄)

(ホ) 278 頁 8 行「昭和 10 年 2 月 25 日 佐鎮 法令第 2 號迄改訂」ヲ「昭和 11 年 6 月 25 日佐鎮法令第 24 號迄改訂」ニ訂正ス

(ヘ)第 12 回挿換紙(279 頁至 280 頁及 280 頁對面 佐世保 軍港細則第 14 條別圖 削除、279 頁至 280 ノ 1 頁及佐世保 軍港 細則 第 14 條別圖挿入)ヲ頒布ス、所要ノ向ハ水路圖誌販賣所ヨリ交付ヲ受クルコトヲ得

(ト) 284 頁 15 行至 17 行ヲ 別紙(2)貼附ニ依リ訂正ス

(チ) 287 頁末行ノ 次ニ別紙 (3) ニ依リ「(第 55 條ノ 2 別表)」ヲ挿入ス

(ト)(チ)(昭和 11 年 6 月 25 日佐世保鎮守府法令第 24 號)

●11 年 930 項(2 區)

Java 北岸 Surabaya Strait—West Gat 投錨禁止區域解除

記事 West Gat 西側 Middelrug 附近投錨禁止區域ハ解除セラレタリ仍ツテ 海圖上該區域ヲ示ス 斷線及區域內ニ附記セル「投錨禁止區域」ヲ削除ス

位置 北界 Lat. 6° 55′ 50″ S. 距等圈
南界 Lat. 6° 58′ 25″ S. 距等圈
東界 Lat. 112° 42′ 00″ E. 子午線
西界 Lat. 112° 40′ 30″ E. 子午線

海圖 993——990——989

前告示 誌 19. 122 頁 貼附ノ 10 年 1218 項(削除)

出所 1936 年 Batavia 告示 49 項

●11 年 931 項(2 區)

Alaska Frederick Sound—Herring Bay 干出岩存在

記事 11 年 246 項ヲ以テ存在ノ旨告示セシ洗岩ハ精測ノ結果ニ依レハ 2.5 呎(0.7 米)ノ干出岩ニシテ長サ北東南西ニ約 40 呎(12.2 米)、幅約 15 呎(4.6 米)ニシテ 其ノ周圍約 150 呎(45.7 米)以內ハ水深 1 乃至 3尋(1.8 乃至 5.4米)ナリト謂フ

位置 Point Brightman ヨリ 54° 1,555 米 Lat. 57° 06′.2 N. Long. 134° 21′.0 W. (概位)

干出 2½ 呎(岩)

注意 海圖上上記位置ニ危險界線ヲ 繞ラセル小干出岩符ヲ記載シ「干出 3 呎」ヲ附記シ其ノ北方至近ニ圖載セル ⊕ 符及 附記セル "P. D." ヲ削除ス

海圖 3553——3544——3506——3507

誌類 † 誌 31A. 206 頁——11 年 346 項(削除)

出所 1936 年米告示 1697 項

●11 年 932 項(2 區)

Alaska—Keku Strait 燈臺設置

(1)記事 Keku Strait 南口西側 Three Mile Arm 南東端附近ニ燈臺(閃白光)設置セラレタリ

位置 Three Mile Arm 入口東側高 1002 呎頂ヨリ 97¾° 1.2 浬
Lat. 56° 34′.0 N. Long. 133° 43′.6 W. (概位)

略記 Fl. *ev. 4 sec.* (U)

細目 燈質閃白光、每 4 秒ニ 1 閃 (閃 0.4 秒、暗 3.6 秒) ● 燭光數 125 ● 構造 白塗小屋 ● 無看守

(2)記事 Keku Strait 北口東側 Salt Point 南端ニ燈臺(閃白光)設置セラレタリ

位置 Salt Point (名稱圖載ナシ)南端
Lat. 56° 50′ 30″ N. Long. 133° 52′ 00″ W.

略記 Fl. *ev. 10 sec.* (U)

細目 燈質閃白光、每 10 秒ニ 1 閃 (閃 1 秒、暗 9 秒) ● 燭光數 125 ● 構造 白塗小屋 ● 無看守

注意 海圖上上記角端ニ "Salt Pt." ヲ記載ス

海圖 3553——3544

出所 1936 年米告示 1696 項

●11 年 933 項(2 區)

Alaska Nichols Passage—Port Chester 挂燈浮標設置

記事 Village Point 燈臺ノ北方約 777 米ニ Scrub Island 1 番挂燈浮標 (閃白光)碇置セラレタリ

位置 Village Point 燈臺(閃紅光)ヨリ 0° 777米
Lat. 55° 08′.2 N. Long. 131° 34′.8 W. (概位)

略記 Fl.

細目 燈質閃白光、每 10 秒ニ 1 閃 (閃 1 秒、暗 9 秒) ● 燭光數 30 ● 塗色黑

注意 上記挂燈浮標ハ水深 8 呎 暗岩ノ西側ヲ標示ス

海圖 3556

誌類 † 誌 31A. 111 頁

出所 1936 年米告示 1695 項

●11 年 934 項(2 區)

U. S. A. San Francisco Bay—Berkeley Shoal 浮標撤去、挂燈浮標碇置

記事 Berkeley Shoal 浮標 "2 B" ハ撤去セラレ同位置ニ挂燈浮標 (閃紅光)碇置セラレタリ

位置 Angel Island Pt. Blunt 燈臺(群閃白光)ノ東方 約 1.5 浬
Lat. 37° 51′.2 N. Long. 122° 23′.1 W. (概位)

略記 Fl. *R. ev. 4 sec.* (No. 2 B)

細目 燈質閃紅光、每 4 秒ニ 1 閃(閃 0.4 秒、暗 3.6 秒) ● 燈高水面上 9 呎 ● 燭光數 40 ● 塗色紅

注意 海圖上上記浮標ヲ挂燈浮標ニ改記ス

海圖 3664——3658——3657

出所 1936 年米告示 1686 項

●11 年 935 項(2 區)

U. S. A. San Diego Bay—Glorieta Bay 航路標識ニ就テ

(1)記事 Glorieta Bay Entrance 1 番及 3 番浮標碇置セラレタリ

位置 Coronado 北東端ノ樁○(Lat. 32° 41′.8 N. Long. 117° 10′.0 W. 概位)ヨリノ

	方位(度)	距離(米)
Glorieta Bay Entrance 1 番浮標	145¼	807
同 3 番浮標	148	1,614

樣式 黑塗圓錐形(1 番、3 番共)

(2)記事 Glorieta Bay 4 番浮標及同 Entrance 6 番挂燈浮標(閃紅光)ハ上記各 1 番、3 番浮標ノ西方附近(圖載位置ノ北方約 430 米及北東方約 170 米)ニ移設セラレタリ

位置 Coronado 北東端ノ樁○ヨリノ

	方位(度)	距離(米)
Glorieta Bay 4 番浮標	150	791
Glorieta Bay Entrance 6 番挂燈浮標	151	1,582

樣式 從前通

海圖 3667

前告示 10 年 1361 項、1550 項

出所 1936 年米告示 1684 項

●11 年 936 項(2 區)

Peru—Quilca Cove 燈臺設置

記事 1936 年 5 月 20 日 Quilca Cove El Castillo Hill 上ニ燈臺(閃白光)設置セラレタリ

位置 El Castillo Hill (圖載無シ)上
Lat. 16° 42′ 30″ S. Long. 72° 27′ 30″ W.

略記 Fl. *ev. 3 sec.* 8 M. (U)

細目 燈質閃白光、每 3 秒ニ 1 閃(閃 0.5 秒、暗 2.5 秒) ● 光達 8 浬 ● 構造塔 ● 礎上高 23 呎 ● 無看守

海圖 3742——3731

誌類 † 誌 35.375 頁

出所 1936 年米告示 1683 項

●11 年 937 項(2 區)

India 西岸—Karachi Harbour 附近 淺瀨不存在

記事 Manora Point 防波堤燈臺ノ南方 1¼ 浬ニ圖載シアル水深 2 尋ノ淺瀨ハ存在セスト謂フ仍ツテ圖誌ヨリ削除ス

位置 Manora Point 防波堤燈臺(閃白光)ヨリ 180° 1¾ 浬
Lat. 24° 45′.3 N. Long. 66° 58′.5 E. (概位)

水深 2 尋(3.7 米)

海圖 3176——3101

前告示 誌 42.350 頁貼附ノ 10 年 483 項(削除)

出所 1936 年米告示 1720 項

●11 年 938 項(2 區)

圖誌訂正

(1)海圖 2744 號

Australia N. S. W. Sydney Harbour Garden I. 南東側 (Lat. 33° 51′.8 S. Long. 151° 13′.8 E. 概位) *Penquin* ノ外側ニ繫留セラレタル廢船(名稱 *Adelaide*)ヲ別紙貼附圖(1 面)ニ依リ海圖ニ記載ス(1936 年英告示 796 項)

(2)海圖 3779 號

Chile 西岸 Isla Doña Sebastiana 南西端(Lat. 41° 44′.6 S. Long. 73° 49′.6 W. 概位)ニ圖載セル標柱ヨリ其ノ東方 約 7 鏈ニ圖載セル標柱ヲ通シ方位 104° ノ線ヲ約 11 浬間記載シ(中西方約 2 浬ハ斷線 爾餘ハ實線)之ニ「2 標一線 284°」ヲ附記ス(1936 年英告示 1012 項(1))

(3)書誌 44 號

288 頁 22 行 Persian Gulf Khor Kaliya 立標記事ヲ別紙貼附ニ依リ訂正ス(1936 年英告示 1091 項)

(4)書誌 46 號B

279 頁 14 行至 16 行ニ貼附ノ 11 年 570 項別紙 Kisimayu Island 燈臺記事中「明孤 251 度至 263 度」ノ次ニ「、光達 10 浬」ヲ又 Matanga Ya Papa 燈臺記事中「明孤 223 度至 237 度」ノ次ニ「、光達 10 浬」ヲ追記ス(1936 年英告示 23 號附票)

●11 年 939 項

書誌新版

番號	書名	定價
書誌第 201 號	水路要報 第 15 年 第 8 號	20錢

●項外

(1)航行上注意スヘキ浮流物

(イ)津輕海峽 函館港外—大鼻岬ノ西南西方約 3 浬 漁船
7 月 25 日 1740 Lat. 41° 42′.8 N. Long. 140° 38′.9 E.(概位)ニ難破漁船漂流ス(海圖 10 號參照)(汽船津輕丸)

(ロ)本州南岸—潮岬燈臺ノ北西方約 9 浬 材木
7 月 23 日 0815 Lat. 33° 28′ N. Long. 135° 35′ E.(概位)ニ長サ約 9 米直徑約 30 糎ノ材木漂流ス(海圖 77 號參照)(汽船アフリカ丸)

(ハ)雙後水道—鵜來島ノ西方 材木
7 月 25 日 1015鵜來島(Lat. 32° 48′ N. Long. 132° 30′ E.概位)西方一帶ニ長サ約 3 米ノ材木多數漂流ス(海圖 151 號參照)(汽船若松丸)

(2)Malacca Strait—Batu Pahat 附近 沈船存在
昭和 11 年 7 月 9 日 Pulo Sialu 燈臺ヨリ 208° 1.5 浬 (Lat. 1° 07.2 N.Long. 102° 52′.5 E. 概位)ニ艀(長サ約 20 米)鐵鎖石約 40 噸積載ノ儘沈沒、標識トシテ空罐浮標ヲ碇置シアリト謂フ(海圖 622 號參照)(汽船烏仁丸)

○ 專賣

◎鹽益專賣

專賣官報 第 [illegible] 號

[illegible]

○ 產業

◎蠶業關係

[illegible]

在外公館報告

◎中國對外貿易額

本件ニ關スル去月二十八日附在上海[illegible]大使館通商報告[illegible]

[illegible]

◎里昂生絲對羽二重市況

本件ニ關スル去月二十六日附[illegible]

[illegible]

第2875号 本文

觀　象

◎全國氣象表（正午觀測）

（備考）氣溫ノ欄ニ印ハ次酌下ノ度ヲ示シ降水量ハ當日午前六時ヨリ翌日午前六時迄ノ總計ナリ

七月二十九日

地名	氣壓(粍)	風向	風速(米)	氣溫(攝氏)	天氣	降水量(粍)
宗谷	755.0	東南東	5	31.0	快晴	—
北見	755.0	東南東	6	29.9	晴	—
網走	757.9	北西	4	31.8	快晴	—
根室	758.8	南南東	2	30.6	快晴	—
釧路	757.3	南南東	4	30.7	快晴	—
高知	758.2	東北東	3	30.6	快晴	—
大分	757.7	西	5	31.1	快晴	—
多度津	758.0	南南東	3	31.6	快晴	—
厳島	758.9	西南西	3	30.2	晴	—
大阪	756.9	西南西	4	32.3	快晴	—
長崎	759.3	西北西	6	28.1	快晴	—
福岡	758.4	西北西	5	34.3	快晴	—
唐津	758.2	西南西	3	32.2	快晴	—
名古屋	755.9	北西	3	32.1	快晴	—
福井	755.6	南	3	30.1	快晴	—
東京	753.4	南	4	32.9	快晴	—
銚子	753.6	南	3	31.3	快晴	—
長野	754.3	北東	2	32.2	快晴	—
前橋	753.0	北北東	3	32.3	晴	—
宇都宮	753.2	南南東	3	32.3	晴	—
福島	752.6	北西	7	27.2	曇	3
仙台	757.4	北西	7	23.0	曇	1
新潟	756.1	南西	3	30.5	曇	—
秋田	754.4	北北西	6	29.1	曇	—
青森	752.1	西南西	6	24.6	曇	—
函館	752.6	西北西	5	25.0	曇	—
札幌	751.7	西	6	29.8	曇	—
旭川	752.0	北北西	2	25.5	曇	1
網走	750.7	北	6	18.7	雨	3
大泊	751.4	北北東	3	17.2	曇	—
仁川	753.5	北	6	26.8	快晴	—
元山	756.8	南西	6	24.2	雨	16
城津	755.5	南西	2	22.9	雨	75
清津	755.0	南南東	2	23.4	曇	—
新義州	754.5	東	2	25.6	曇	—
大連	754.0	南	4	26.9	快晴	—
奉天	751.7	南西	4	28.2	曇	—
新京	753.3	南西	1	26.8	曇	—
天津	754.4	南西	2	33.0	晴	—
青島	754.4	北西	4	24.8	曇	—
上海	756.0	北	3	33.7	曇	—

◎東京氣象

七月二十九日　天氣概況　晴

平均氣壓（海面ノ度）	七五四・三粍	平均水蒸氣張力	二一・六粍
平均氣溫	二九・八度	平均雲量	五・四
平年ヨリ三・七度高シ		日照時間	一〇・九時
最高氣溫	三五・六度	平均風速度	一・〇米毎秒
最低氣溫	二五・一度	最大風速度	四・〇米毎秒
前五日間平均氣溫	二九・〇度	最多風向	北北西
平年ヨリ三・四度高シ		降水總量	—
平均濕度	七三%2	最大一時間降水量	—

記事　—

（以上中央氣象臺）

廣　告

◎神職高等試驗公告

神職高等試驗施行ニ付官國幣社及神宮神部署神職任用令ニ依リ左記ノ通公告ス

昭和十一年八月

神職高等試驗委員長　湯澤三千男

一出願期限　本月一日ヨリ來ル九月三十日マテ

一試驗期日

筆記試驗

十月十九日（月）
- 午前　倫理（古文、中古文、近世文、文學）
- 午後　國文（史、作文、體、公文體）

十月二十日（火）
- 午前　歷史（國史、外國史、古典）
- 午後　同（神祇史）

同二十一日（水）
- 午前　法制（現行神社法令及憲法）
- 午後　算術

同二十二日（木）
- 午前　祭式（但シ實地試驗ヲ併セ行フモノトス）
- 午後　同

口述試驗　筆記試驗及實地試驗合格者ニ就キ之ヲ施行ス其期日ハ追テ定ム

一試驗ノ場所　東京市麴町區外櫻田町　內務省內神職高等試驗場

一受驗願書及履歷書書式ノ通

願書ニハ十圓ノ收入印紙ヲ貼付スヘシ　但シ消印スヘカラス

願書ニハ官國幣社及神宮神部署神職任用令第二條ノ規定ニ該當スル者ナルコトヲ證スル書類並ニ出願前一年內ニ撮影セシ寫眞（裏面ニ撮影年月日氏名ヲ自ラ記載スヘシ）ヲ必ス添付スヘシ

神職高等試驗事務所ノ持參又ハ書留郵便ニテ受驗者ハ當日午前八時マテニ試驗場ヘ出頭スヘシ

尚ホ出頭ノ節ハ各自名刺ヲ受付ヘ差出スヘシ

一受驗者ハ左ノ事項ヲ心得ヘシ

一洋服又ハ袴着用ノコト但シ祭式實地試驗ノ際ハ必ス袴着用ノコト

携帶スルコト但シ試驗用紙ハ之ヲ交付ス

二、ペン及インキ（筆及墨池ニテモ可ナリ）、雖辯當ヲ

三、控所ノ掲示ニ注意スルコト

第一號書式（用紙美濃紙）

神職高等試驗受驗願書

本籍　何府縣郡市町村何番地

戶主又ハ同某男兄弟

現住所　何府縣郡市町村何番地（何某方）

氏名　氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

年　月　日生

私儀神職高等試驗相受度別紙履歷書證明書及寫眞相添ヘ此段御願ニ及候也

年　月　日

氏　名㊞

神職高等試驗委員長氏名宛

東京市內又ハ其附近ニ現住所ヲ有セサル者ハ高等試驗委員長ヨリ發スル通知書ヲ受取ルヘキ場所ヲ必ス東京市內又ハ其附近ニ定メ左ノ書式ニ依リ追記シ現住所若クハ通知書ヲ送付スヘキ宿所ヲ轉シタルトキハ其時々直ニ屆出ツヘシ

「追テ高等試驗委員長ヨリ發スル通知書ハ左ノ所ニ御發送被成下度候

東京市何區何町（何丁目）何番地（何某方）」

第二號書式（用紙美濃紙）

履歷書

氏　名

學　歷

一何年何月ヨリ何地何某ニ就キ又ハ官公私立何學校ニ於テ何學ヲ修メ科目大略何々科ヲ修業シ何年何月卒業ス

職　業

一何年何月何官廳ニ於テ何々拜命何々歷任等賞罰

◎講習生募集

本所ニ於テ酒類醸造部並ニ醬油醸造部講習ヲ開催ス志願ノ者ハ左記各項ヲ知ノ上願書ヲ差出スヘシ

東京市瀧野川區瀧野川町　醸造試驗所

一講習期間ハ昭和十一年十一月上旬ヨリ同十二年四月上旬ニ至ル

一本講習ヲ志願シ得ル者ハ酒類又ハ醬油ノ醸造業者若クハ其子弟ニシテ左ノ各項ニ該當スル者ニ限ル但シ醸造營業者カ法人ナル場合ニハ營業者ト看做ス

於テハ其法人ヲ代表スヘキ者ヲ以テ本項ノ營業者ト看做ス

一滿十九歲以上タルコト

二、中學校又ハ中學校程度以上ノ實業學校ヲ卒業シタルコト

三、筒年以上酒類又ハ醬油ノ實地醸造ニ從事シタルコト

四、身體强壯ニシテ傳染性疾患ナキコトノ醫證ヲ有スルコト

中學校程度以上ノ實業學校ヲ卒業シ前項第一號（第三號並ニ第四號ニ該當スル者ニシテ醸造技術者ニ對シテハ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ）

一志願者ハ入所願書及履歷書ヲ身體檢査證ヲ添ヘ來ル九月二十日マテニ所轄稅務署ヲ經由シ

一入所願書及履歷書ノ書式ハ所轄稅務署ニ備ヘ置クヘシ

一入所許可ノ人員ハ酒類醸造部並ニ醬油醸造部ヲ通シテ五十名以內トス

一入所ノ許否ハ詳衡ノ上之ヲ定メ十月末日マテニ通知ノ見込ミ

（注意）

一入所願書及履歷書ノ書式ハ所轄稅務署ニ備ヘ置クヘシ

一講習規程ノ送付ヲ望ム向ハ郵送料（貳錢切手）ヲ添附シテ申出ツヘシ

昭和十一年特別大演習觀艦ノ件

◎式參列軍艦ニ便乘並撮影出願ノ件

本年秋季本邦南方海面ニ於テ行ハル、海軍特別大演習ノ終期阪神沖ニテ觀艦式ヲ施行ノコトニ內定セラレタル旨ニ付觀艦式記事作製又ハ寫眞撮影作業ノタメ觀艦式當日又ハ碇泊地ニ於ケル觀艦式參列軍艦ニ便乘ヲ希望スル者ハ左記承知ノ上出願セラルヘシ

昭和十一年八月

海軍省

一觀艦式施行期日　昭和十一年十月二十九日（碇泊地ニ於ケル觀艦式豫行期日　昭和十一年十月二十七日）

一觀艦式施行地　阪神沖

一參列軍艦ニ便乘ヲ許可セラルヘキ範圍

（イ）記者—新聞社通信社及雜誌社ノ各社記者一名

（ロ）寫眞撮影者—新聞社通信社雜誌社及寫眞關係社ノ各社寫通寫眞一名又ハ活動寫眞一組（三名以內）但シ一社ニテ普通寫眞及活動寫眞ノ兩者ニ出願差支ナシ

（ハ）右ノ人員ハ出願ニ依リ先著順ニ詮衡ノ上員數ヲ制限シ許可セラル

一出願期日　本月二十日マテ

一出願ノ樣式　便乘希望者ハ附記樣式ニ依リ願書ヲ作製シ地方長官經由提出スルモノトス（願書ノ樣式ニ相違スルモノ、地方長官ヲ經由セサルモノ又ハ期限ヲ經過シタルモノハ受理セス）

一許可證願書受理詮衡ノ上許可セラレタルモノニハ十月十五日マテニ許可證ヲ交付ス

一雜件　觀艦式ニ關スル詳細ハ式施行約十日前ニ公表セラルヽ豫定ニ付夫レ以前ノ照會ニハ一々應シ難シ

願書樣式（用紙美濃版紙）

年　月　日

出願責任者　住　所

氏　名（各社長等）㊞

昭和十一年特別大演習觀艦式事務委員長　豐田副武殿

昭和十一年特別大演習觀艦式（又ハ豫行）參列軍艦ニ便乘作業ヲ許可セラレ度キ件

本件左記ニ依リ許可セラルル樣御取計相成度

記

一作業者　擔當ノ職（社會部記者、寫眞部員等）

氏　名（振假名附）

年齡

一作業ノ種類（記事作製、普通寫眞、活動寫眞、携帶活動寫眞撮影等必要事項記載）

一許可證送付先（宛名、場所及電話番號）

一其他（出願者ニ於テ特ニ要スル事項）

（注意）

（イ）作業者一名ノ大型活動寫眞ハ二名）毎ニ願書ヲ別ニスルコト

（ロ）觀艦式事務委員長豐田副武ハ海軍省軍務局長ナリ

◎推薦映畫

左記映畫ヲ優良ト認メ本省推薦映畫ト決定セリ

昭和十一年八月

推薦番號　種　類　映畫題名　卷數　價　値

四〇五　人情劇　青春の海　一〇　娯樂的

◎營業停止

東京市目黑區碑文谷一丁目千百二十八番

七月二十五日ヨリ十日間　古物商　荒井　慶三

同市同區碑文谷一丁目千百三十七番地

同日ヨリ十日間　同　椎橋太四郎

同市荏原區中延町八百四十五番地

同二十八日ヨリ十五日間　同　桃井　省三

右ハ對シ古物商取締法第十四條ニ依リ各頭書ノ期間孰モ其營業ヲ停止セリ

昭和十一年八月　警視廳

◎村役場位置變更

埴科郡森村ハ其役場位置ヲ同村字北清水堂千四百六番ノ一ニ變更シ去月十三日移轉セリ

昭和十一年八月　長野縣

◎購買入札

一砂利外一廉　豫行期限　本年九月三十日、同十月二十日、同十一月十日分納

一入札並開札　八月十一日午前十時三十分

一入札場所　當部

一公示書類　契約書案、入札者心得書當部ニ在リ

一入札保證金　入札價格ノ百分ノ五以上（同上）

一契約保證金　契約價格ノ百分ノ十以上（同上）

一入札資格者ノ資格證明ヲアル者

昭和十一年八月一日　呉海軍建築部

一紙十號　三九九二〇瓩

一紙十六號ノ二　四一〇〇四瓩

一入札並開札　本月六日午前十時四十分マテニ

一入札保證金納入同十一時限入札即時開札

一公示書類　當局經理課

一入札保證金　同課ニ就キ閲覽スヘシ

一入札者資格　各自見積額ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

一入札者資格ノ資格ヲ具フル要ス　大正十一年大藏省令第三十三號

昭和十一年八月一日　貯金局

◎商業登記

◎本月四日官報一五〇頁一段掲載當廳合資會社笠原商店變更登記公告二行（笠原弦治ハ後藤弦治ノ誤ニ付訂正ス）

◎本月四日官報一五〇頁二段掲載當廳合名會社大和屋商店更變登記公告八行（三十五番地ハ三十二番地ノ誤ニ付訂正ス）

◎本月四日官報一五〇頁二段掲載當廳合名會社中村堅次郎商店變更登記公告末行（九番地ノ誤ニ付訂正ス）

◎本月四日官報一五〇頁二段掲載當廳合資會社公告二十七行「合資會社本庄移轉」ハ「合名會社本店移轉」ニ同會社公告四行「明治興業合資會社」ハ「明治興業合名會社」ノ誤モ誤ニ付訂正ス

◎本月四日官報一五〇頁三段掲載當廳合名會社櫛木製作所設立登記公告四行「西區西脹町」ハ「同區西脹町」ノ誤ニ付訂正ス

◎本月四日官報一五〇頁四段掲載當廳入山金山掘採株式會社本店移轉登記公告六行「試掘」ノ下ニ「採掘」落ニ付追加訂正ス

◎本月四日官報一五〇頁四段掲載當廳東京魚肥株式會社變更登記公告末行加登記公告八行（三月）ハ「九月」ノ誤ニ付訂正ス

◎本月四日官報一五一頁一段掲載當廳合資會社興產牛乳販賣所支店（設立登記公告三行岩淵町ノ下ニ「二丁目」脫落ニ付追加訂正ス）

◎本月四日官報一五一頁一段掲載當廳下野新聞株式會社變更支店登記公告二行「馬場寶太郎」ハ「馬場寶太郎」ノ誤ニ付訂正ス

◎本月四日官報一五一頁一段掲載當廳大日本活性炭株式會社移轉登記公告二行「十六目」ハ「十五目」、同三行「千六百」ハ「千六百三十一番地」ニ、「九」ハ「七」ノ誤ニ付訂正ス

◎本月四日官報一五一頁一段掲載當廳合資會社早野商店變更登記公告四行「早野興助」ハ「早野興助」ノ誤ニ付訂正ス

◎本月四日官報一五一頁二段掲載當廳合名會社國光地鋼店變更登記公告二行「國光弘治」ハ「國光弘治」ノ誤ニ付追加、同末行「國光弘浩」ハ「國光弘治」ノ誤ニ付訂正ス

◎本月四日官報一五一頁二段掲載當廳合資會社國光地鋼店變更登記公告二行「國光弘治」ハ「國光弘浩」ノ誤ニ付訂正ス

◎本月四日官報一五一頁二段掲載當廳株式會社照電社變更登記公告二行「前夫」ハ「前川夫」、同八行「監査所」ハ「監査役」ノ誤モ誤ニ付訂正ス

昭和十一年七月八日　東京區裁判所

◎新竹州帽子株式會社變更

昭和十一年五月三十一日臺中州大甲郡大甲街大甲九七番地陳啓德ハ監査役ニ就任ス

◎合資會社平東商會（變更）

昭和十一年五月二十日總社員ノ同意ニ依リ本店所在地ヲ新竹市表町二丁目三七番地ニ移轉ス

昭和十年八月一日町名及地番改稱ニ依リ無限李壽林ノ住所ヲ新竹市表町二丁目三七番地ト稱呼變更ス

昭和十一年五月二十日總社員ノ同意ニ依リ目的ヲ砂糖製造竹材木材加工農產物栽培魚苗養殖及其賣買開墾造林ト變更ス　昭和十一年五月二十三日總社員ノ同意ニ依リ無限李壽林ノ持分金五千圓ノ內金五百圓ヲ左者ニ讓渡シ出資額ヲ金四千五百圓ト變更讓受人左者ハ頭書ノ出資責任ヲ以テ入社　新竹市表町二丁目三九番地金五百圓　有限荒牧護助　昭和十一年五月二十四日總社員ノ同意ニ依リ有限謝氏姉妹ハ持分金五百圓全部ヲ無限李壽林ニ讓渡シテ退社讓受人無限李壽林ハ出資額ヲ金五千圓ト變更ス

右昭和十一年六月十日登記

臺北地方法院新竹支部

◎合名會社興農苗圃（變更）

昭和十一年六月六日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス一本店花蓮港廳花蓮港街花蓮港街住二百三十七番戶

同日商號及目的ヲ左ノ如ク變更ス一商號合名會社興農商會一目的ヲ果苗養成並ニ果樹栽培肥料及雜貨賣買海陸物產委託販賣其ノ他附帶セル一切ノ業務

右昭和十一年六月十日登記

臺北地方法院花蓮港支部

◎法人登記

◎本月六日官報廣告二別刷一九頁一段掲載當廳財團法人日本刀鍛錬會變更登記公告二行（三月）ハ（四月）ノ誤ニ付訂正ス

◎本月六日官報廣告二別刷一九頁二段掲載當廳社團法人日本藥業協會變更登記公告二行石破橘三ノ誤ニ付訂正ス

◎本月六日官報廣告二別刷一九頁二段掲載當廳法人登記公告二十四行「社團法人建築資料研究會變更」ハ「社團法人建築資料協會變更」ノ誤ニ付訂正ス

◎本月六日官報廣告二別刷一九頁二段掲載當廳法人登記公告二十七行「社團法人大日本總科醫學會變更」ハ「社團法人大日本齒科醫學會變更」ノ誤ニ付訂正ス

◎本月四日官報一五一頁二段掲載當廳株式會社照電社變更登記公告二行「前夫」ハ「前川夫」、同八行「監査所」ハ「監査役」ノ誤モ誤ニ付訂正ス

昭和十一年七月八日　東京區裁判所

許可
28715
本文

◎産業組合登記

◎保證責任福川目村信用販賣購買利用組合變更
一監事任期滿了ニ付昭和十一年五月十日總會ニ於テ齋藤政左エ門小原源雄菊池栂孝ハ再選シ新ニ左ノ者選任セラレ同日就任ス
菊池六郎　和賀郡横川目村大字横川目字右館
二十六番地
昭和十一年六月十八日登記　花卷區裁判所藤根出張所

◎無限責任長部信用購買販賣利用組合變更
理事監事任期滿了ニ付後任選擧ノ結果監事山平良治ハ再選シ新ニ左ノ者理事監事ニ選任セラレ同年五月二十日就任ス
理事　千葉文作　東彌井郡長島村長部字本千葉源三郎　同郡同村同字二反田四十番地
同　千葉林右エ門　同郡同村同字滝ノ澤十七番地
同　青木敬助　同郡同村同字赤羽根六十九番地
監事　葛西其吉　同郡同村同字生江田入十三番地
同　山平耕一　同郡同村同字矢崎三番地
昭和十一年六月十八日登記　一關區裁判所

◎有限責任秋田醫療購買利用組合變更
昭和十一年五月五日左記者理事ニ就任ス
館岡良之助　南秋田郡大久保町字町後五十三番地
溝江誠　秋田市中鯰ノ丁上町三十二番地
庄司研治　秋田市保戸野中町十三番地
菊池祐寛　秋田市寺町二十八番地

◎有限責任秋田醫療購買利用組合更正
一理事館岡良之助ノ住所ヲ南秋田郡大久保町字小橋五十四番地ト更正ス
右昭和十一年五月二十七日登記

◎保證責任南秋農村工業販賣購買利用組合聯合會變更
昭和十一年五月二日左記者監事ニ就任ス
兒玉重三郎　南秋田郡下井河村小竹花字川端三十一番地　同郡大久保町字屋敷四十六番地
高橋駒藏　同郡大久保町字屋敷四十六番地
右昭和十一年六月五日登記　秋田區裁判所
一理事佐藤秀三ハ昭和十一年六月十五日辭任セリ
右昭和十一年六月十八日登記　秋田區裁判所新屋出張所

◎有限責任仙北醫療購買利用組合變更
昭和十一年六月十日出資一口ノ金額及其拂込方法ヲ左記ノ通リ變更ス
一出資一口ノ金額　金十圓
一出資拂込ノ方法
一出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金一圓ト但シ第一回ノ拂込ト同時ニ其ノ全額ヲ拂込ムコトヲ得
二第一回後ノ出資拂込ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年一回以上ヲ拂込ムモノトス
右昭和十一年六月十七日登記　大曲區裁判所

◎保證責任生保內信用販賣購買利用組合變更
一監事荒木田鶴吉ハ昭和十一年五月二十八日死亡セリ
右昭和十一年六月十八日登記　大曲區裁判所生保內出張所

◎有限責任購買利用組合津輕病院變更
理事山本末吉同箱谷正質同渡邊富造ハ昭和十一年四月二十一日各重任ス
右昭和十一年五月二日登記

◎有限責任購買利用組合變更
理事任期滿了ノ處昭和十一年四月十日理事藤田重太郎兼平慶治齊藤芳續森良次郎中村芳一佐藤清作原子藤一郎小杉文雄ハ各重任シ左者新ニ理事ニ就任ス
理事　長利鶴之助　南津輕郡大鰐町大字大鰐字大鰐百二十五番地
同　高田大次郎　同郡浪岡村大字浪岡百八十八番戶
同　藤井福太郎　同郡藤崎町大字藤崎字村井二番地
同　赤平利吉　同郡柏木町大字高畑字熊澤十三番地
同　佐藤與三郎　同郡山形村大字花卷字花卷三番地
昭和十一年六月十七日登記　沼津區裁判所弘前區裁判所黑石出張所

◎保證責任岩見澤信用購買販賣利用組合變更
監事二名任期滿了ニ付昭和十一年二月二日選擧ノ處高田敬節中林太一郎再選同月七日重任シ左ノ者新ニ當選同日就任セリ
中村與平　空知郡岩見澤町西七十二番地

◎保證責任三笠山村信用購買販賣利用組合變更
監事金員任期滿了ニ付昭和十一年三月九日改選左ノ者新ニ當選同日就任セリ
今島平藏　空知郡三笠山村大字幌內村字五十號
一柳藤三郎　同郡同村大字市來知村第二ノ區七十二番地

泰　悅藏　同郡同村同大字字藤松澤二百七十六番地ノ五
右昭和十一年六月十七日登記　岩見澤區裁判所

◎保證責任南空知太信用購買販賣利用組合變更
監事金員任期滿了ノ處昭和十一年二月二日堀江長吉辭任シ同月五日田村文五郎重任ス
理事一名缺員ノ處昭和十一年二月五日左者就任ス
理事　堀江長吉　空知郡砂川町字空知太四百八番地

◎保證責任下赤平信用販賣購買利用組合變更
理事長谷川長七同大橋穩次郎同佐古末次郎監事和家締造同中村熊吉同後藤嘉內任期滿了ノ處昭和十一年二月二十八日重任ス
昭和十一年六月十七日登記　岩見澤區裁判所瀧川出張所

◎保證責任平取信用購買販賣利用組合變更
監事赤根喜四郎ハ昭和十一年四月十四日辭任セリ
右昭和十一年六月十七日登記　浦河區裁判所平取出張所

◎保證責任鳳凰信用購買販賣利用組合變更
昭和十一年六月十三日認可ニ因リ出資一口ノ金額ヲ金二十圓ニ變更ス
右昭和十一年六月十六日登記　旭川區裁判所富良野出張所

◎保證責任信用購買販賣利用組合變更
一理事金員任期滿了ノ處理事稻木小千太小野魁之助藤井房五郎後藤熊太郎加藤忠重ハ昭和十一年二月三日重任ス
一監事金員任期滿了ノ處監事中野竹次郎小野愛助石田國太郎ハ昭和十一年二月三日重任シ同日左記ノ者新ニ監事ニ就任ス
牛田熊太郎　雨龍郡妹背牛村字大鳳三百四十四番地ノ二
昭和十一年六月十七日登記　旭川區裁判所深川出張所

◎保證責任中頓別信用販賣購買利用組合變更
一昭和十一年七月理事二名增員ノ定款變更認可ノ處昭和十一年二月六日總會ニ於テ左ノ者ヲ選任シ同年四月二十七日就任セリ
理事　常本勇松　拔幸郡中頓別村字松善知蔵山農場二百六十七番地
同　千葉喜一郎　拔幸郡中頓別村字ペーチヤン原野北線二十五番地
右昭和十一年六月十七日登記　名寄區裁判所頓別出張所

◎保證責任清水村信用購買販賣利用組合變更
理事田村常平ハ昭和十一年五月七日辭任ス
右昭和十一年六月十七日登記　帶廣區裁判所清水出張所

◎無限責任池田信用購買販賣組合變更
監事野村慈弘山根藤太郎任期滿了ノ處昭和十一年五月三日孰レモ再選重任シタリ
右昭和十一年六月十七日登記　帶廣區裁判所池田出張所

◎有限責任北港郡役所購買組合(變更)
監事有澤力男ハ昭和十一年五月二十六日北港郡北港荷北港一七二番地ノ六ニ變更ス
理事田村富士雄ハ昭和十一年五月二十六日住所ヲ北港郡北港荷北港一二〇五番地ニ變更ス
右昭和十一年六月十二日登記　豪南地方法院北港出張所

◎住宅組合登記

◎有限責任麻原住宅組合變更
理事山本末吉同箱谷正質同渡邊富造ハ昭和十一年四月二十一日各重任ス
右昭和十一年五月二日登記

◎有限責任住宅組合變更
理事牧田孟松同石塚泰平ハ任期滿了ニ因リ昭和十一年四月五日退任シ同日稻葉勝太郎ハ同日重任ス
左記者同日理事ニ就任ス　沼津市本字鄉町六七五番地ノ一　中島庄吉沼津市上香貫字東本鄉町四六六番地ノ二　監事大沼莊作沼津市上香貫字東本鄉町四六七番地ノ二　同所菊地敏治ハ任期滿了ニ因リ昭和十一年六月五日退任シ左記者同日監事ニ就任ス　小椋藤吉沼津市上香貫字東本鄉町四六七番地ノ二　德村榮吉沼津市上香貫字東本鄉町四六七番地ノ二
右昭和十一年六月十七日登記　沼津區裁判所

◎有限責任愛工住宅組合更正
理事野村清助ノ住所ヲ名古屋市中區廣瀨町二丁目八番地ト更正ス
理事小林敬一ノ住所ヲ同所同番地ト更正ス
理事寺浦角市ノ住所ヲ名古屋市東區振甫町一丁目一番地ト更正ス
監事河野字六ノ住所ヲ名古屋市中區惠方町三丁目七番地ト更正ス
右昭和十一年六月十六日登記　名古屋區裁判所

◎有限責任大正住宅組合變更
一理事金員任期滿了ノ處江藤榮登圓安宅甲斐太郎福田潤森八重藏ハ昭和十一年五月二十六日重任ス
右昭和十一年六月十七日登記　大分區裁判所

◎保證責任清水村信用購買販賣利用組合變更
理事田村常平ハ昭和十一年五月七日辭任ス
右昭和十一年六月十七日登記　帶廣區裁判所清水出張所

◎平澤町漁業組合組織設定
名稱　無限責任平澤町漁業協同組合
組織　無限責任
一目的ハ漁業權入漁權ヲ取得シ及漁業權ノ付ヲ受ケ並ニ組合員ノ漁業及其經濟ノ發達ニ必要ナル共同ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス
一地區　秋田縣由利郡平澤町ノ區域
一設立許可ノ年月日　明治三十八年九月三十日
一出資一口ノ金額　金三十圓
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓ト但シ第一回ノ拂込ト同時ニ其ノ全額ヲ拂込ムコトヲ得
一組合員ハ前項ノ金額ヲ超エテ任意ニ拂込ヲ爲スコトヲ得
一理事ノ氏名住所
伊藤眞平　秋田縣由利郡平澤町平澤字上町八十五番地ノ二
菜吉　同縣同郡同町平澤二百七十七番地
加藤仁助　同縣同郡同町三森字濱田百九十五番地
佐藤德次郎　同縣同郡同町平澤字上町七番地
一監事ノ氏名住所
藤田孝一　同縣同郡同町芹田字高磯七十九番地
加賀太治郎　同縣同郡同町平澤字古里三番地
右昭和十一年六月十四日登記　本莊區裁判所平澤出張所

◎保證責任安別漁業協同組合變更
監事金員任期滿了ノ處改選ノ結果昭和十一年五月二十日左者就任シタリ
監事　三橋金五郎　名取郡名好村大字安別字後龍三百三十三番地
同　藤山直治郎　同所十八番地
右昭和十一年六月六日登記　眞岡區裁判所鵜城出張所

◎後龍庄漁業組合(變更)
昭和十一年六月十日事務所ヲ竹南郡後龍庄後龍字後龍三百三番地ノ一ニ移轉

◎竹南庄漁業組合(變更)
昭和十一年六月一日組織設定シ一名稱保證責任竹南庄漁業協同組合組織保證責任ニ事務所竹南郡竹南庄竹南三四一番地ノ一目的ハ漁業權入漁業ヲ取得シ及漁業權ノ付ヲ受ケ並ニ組合員ノ漁業及其經濟ノ發達ニ必要ナル共同施設ヲ爲スヲ以テ目的ト
一設立許可年月日　昭和十一年六月十日
一出資一口ノ金額　金五圓
一出資拂込ノ方法　第一回拂込ハ一口ニ付金二圓七十錢ト第二回以後ハ昭和十一年六月十日迄毎月三十日限リ金二十錢宛拂込ムモノトス但シ第一回ノ拂込ト同時ニ其ノ全額ヲ拂込ムコトヲ得
一理事氏名住所
庄中池五郎　竹南郡竹南庄五番地
同　陳榮梅　同所六四三番地
同　洪吉清　同所六四二番地
二九番地陳安慈同所字營盤逕字山窟二六九番地陳石頭同所
同　陳榮同郡同庄崎頂九四番地陳鼓同所一八〇番地ノ一
蓬監事氏名住所同郡同庄營盤逕字山窟六三番地林
林秋芳同所中港五七四番地陳德同所崎頂七番地
右昭和十一年六月十三日登記　豪北地方法院竹南出張所

◎禁治産宣告

本籍京都市下京區西九條小寺町六、七番地ノ二合地
目下京都府愛宕郡岩倉村岩倉病院在院　高田セン
右者ニ對シ其ノ實弟高田勝次郎ノ申立ニ因リ當裁判所ハ昭和十一年七月二十五日禁治産宣告ヲ爲シタリ
昭和十一年七月二十五日　京都區裁判所

本籍並住所廣島縣那賀郡鷲敷町大字仁宇字學原四十四番地ノ一　明治三十一年一月九日生　原米三郎
右者親族秋月ハツノ申立ニ因リ心神喪失ノ常況ニ在ル者ト認メ禁治産ヲ宣告ス
昭和十一年七月二十四日　富岡區裁判所

秋田縣平鹿郡横手町羽黑新町八番地　明治三十四年九月十八日生　杉田周四郎
右ニ對シ兄杉田清治杉田賢治並甥杉田榮ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十一年七月二十五日禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十一年七月二十五日　横手區裁判所

◎準禁治産宣告

高知市石井町二十六番屋敷下三十番戶　中澤利吉　明治四十一年十一月七日生
右ノ者ニ對シ實父中澤岩太郎ノ申立ニ因リ當裁判所ハ昭和十一年七月二十二日準禁治産ヲ宣告シタリ
昭和十一年七月二十五日　高知區裁判所

本籍並住所廣島縣山縣郡八重町字今田百九十四番屋敷　明治四十年十二月二十三日生　濱下光人
右ノ者ニ對シ實父濱下喜太郎ノ申立ニ因リ當裁判所ハ浪費者ト認メ準禁治産ヲ宣告ス
廣島區裁判所
昭和十一年七月二十三日　判事　池田收二

福島縣西白河郡白河町字道場町十一番地　鈴木和助
右ニ對シ其ノ弟東京市淺草區向柳原町一番地鈴木喜助ノ申立ニ因リ當裁判所ハ昭和十一年七月二十四日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十一年七月二十四日　白河區裁判所

◎公示催告

名古屋市中區長良町字奥田十七番地　村上源吉
右ノ者ニ對シ貨物引換證ニ付キ右申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ昭和十二年三月三十一日午前十時迄ニ當裁判所ニ權利ヲ屆出テ且右引換證ヲ提出スヘシ若右期日迄ニ屆出テ及提出ヲ爲ササルニ於テハ其無效ヲ宣言スルコトアルヘシ
昭和十一年七月二十三日　舞鶴區裁判所

（別記）
貨物引換證ノ表示
甲二〇七四號　トマトソース二打入三百七十箇
一番號
二品名醬鹽
四運送品價格　金八百四圓七十五錢
五重量　十三瓶
六發行日　昭和十一年六月二十三日
七到著地及取扱人　舞鶴線海舞鶴驛他運送店
八荷送人　村上源吉
九荷受人　丹後水産株式會社
九發行者　大高合同運送株式會社事務取締役久野好一
東京市京橋區新川二丁目二番地ノ一　申立人　清製油株式會社
一船荷證券　第二號　右決定代理人取締役　本多兵一
一船名　熱河丸
荷印品名數量　大久麻袋入　荏油粕千六百九十袋グロス一六九〇〇〇斤
價格　金六千四百圓也
積出地　大連市
陸揚地　門司市
發行日　昭和十一年六月二十三日
發行人　大阪商船株式會社大連支店
荷送人　日清製油株式會社
荷受人　同上
右證券ニ付申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルヲ以テ其所持人ハ昭和十一年八月二十七日午前十時迄ニ當裁判所ニ權利ノ屆出ヲ爲シ且證券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ權利ノ屆出及證券ノ提出ヲ爲ササルトキハ前記證券ノ無效ヲ宣言スルコトアルヘシ此旨催告ス
昭和十一年七月二十五日　小倉區裁判所

◎破産事件ノ配當ニ付公告

大分區裁判所昭和七年(フ)第二二號事件　破産者　玉ノ井茂
一配當ニ加フヘキ債權ノ總額　金三万三千九百四十四圓三十三錢
一配當スルコトヲ得ヘキ金額　金五千六百七十七圓四十四錢
右公告ス
昭和十一年七月二十七日
大分市大字大分小字護國
右破産管財人　河野春馬

◎朝鮮銀行券發行週報

自昭和十一年七月十九日至同　十一年七月二十五日　朝鮮銀行券發行平均高
銀行券發行高　一四八、六九〇、〇〇〇
準備　九九、〇八六、八四九、〇〇〇
保證　四九、六〇三、三七六、〇〇〇
昭和十一年七月二十七日　朝鮮銀行

◎外國郵便物東京中央郵便局締切日時表

普通書留	郵便船名	月日	時	月日	時
南支現香港、フィリピン群島、海峽殖民地、英領印度等行	出帆	八、二前九	同四前八半	八、三後四	同五後一〇
加奈陀、米國、南米等行	神戸丸	同四前九	八半	同四前一〇、二五	八、七前九
布哇、米國、加奈陀、南米等行	横濱丸	同四後五〇	八半	同四後一〇、二五	八、七前九
同	伏見丸	同五後二、一〇	同五後一〇	同五後二、二五	同五後一〇
同	横濱丸	同五後二、二〇	同五後一〇	同五後二、二五	同五後一〇
同	門司	同五後二、二〇	同五後一〇	同五後二、二五	同五後一〇
同	銀洋丸	同四後五〇	八半	同四後一〇、二五	八、七前九
同	門司	同四後五〇	八半	同四後一〇、二五	八、七前九
同	橫濱丸	同四後五〇	八半	同四後一〇、二五	八、七前九
同	伏見丸	同五後二、一〇	同五後一〇	同五後二、二五	同五後一〇
同	橫濱	同五後二、二〇	同五後一〇	同五後二、二五	同五後一〇
同	日枝丸	同五後二、二〇	同五後一〇	同五後二、二五	同五後一〇
同	プレシデント、リンカン號	同五後二、二〇	同五後一〇	同五後二、二五	同五後一〇

本文 28875 号

日本特許

特許番號	發明ノ名稱	特許年月日	特許權者
第八四五三四號	航空機用機關銃	昭和四年十二月十二日	ダヌヴィア、イバリ、エス、ケレスケデルミ、レスツヴェニタールササグ、

右特許ヲ讓渡シ又ハ其使用ヲ許諾可致候間御希望者ハ下名ヘ

東京市神田區駿河臺三ノ二十一番地
辨理士　鈴木郁賀三郎事務所

出張所　東京市日本橋區日本橋北詰
福岡市箱屋町一八
京城府南大門通三丁目
奚、佐世保、横須賀、舞鶴

麻布ホース
消防ポンプ
角ゴム製品

大阪西區立賣堀南通六丁目
株式會社　赤尾保商店
電話新町五四八・五四九

東京市九段下電停前
アキバ徽章商會
カタログ進呈

大阪市公債繰上償還公告

本市左記公債ハ左記期日ニ全額繰上償還ヲ爲ス元金及端數利子ハ下記取扱所ニ於テ證券引換ニ之ヲ支拂フ

保健公債	(いろは)	昭和十一年九月二十八日	參拾五萬九千五百圓
繰上償還日			
端數利子	(壹百圓券)	(五千圓券)	七拾參圓拾五錢 壹圓四拾六錢 壹圓四拾參錢 壹圓四拾六錢
第六回教育公債	(ちりぬ)	壹百九拾萬八千六百圓	
第十一回電氣事業公債	(もせす)	壹百萬六千四百圓	
第七回築港公債	(まけふ)	壹百貳拾六萬壹千圓	
繰上償還日		昭和十一年十一月二日	
端數利子	(壹百圓券)	(壹千圓券)	參拾八圓拾壹錢 七圓六拾貳錢
		(五千圓券)	七拾六錢

支拂事務取扱所　(株式會社)　安田銀行本支店
(株式會社)　三和銀行本支店
(株式會社)　野村銀行本支店

昭和十一年八月一日

大阪市長　坂間棟治

社債繰上償還公告

當社第壹回社債金額五百萬圓也（第貳回社債ニ乘換分ヲ除ク）ハ左記ノ通リ全額繰上償還可致候間同日以降債券（昭和拾壹年拾貳月拾五日償還ノ除利札附債）引換ニ元利金御受領被下度此段公告致候也

償還期日　昭和拾壹年八月拾五日
端數利子　壹百圓券　金八拾參錢　五百圓券　金四圓拾七錢
壹千圓券　金八圓參拾五錢　五千圓券　金四拾參圓七拾八錢
支拂場所　朝鮮銀行本店及平壤支店
昭和拾壹年八月壹日

西鮮合同電氣株式會社

帳簿
御殿　明治四十三年　野線・印刷・製本三工場完備
東京・京橋一丁目　電話九七七
天勝堂帳簿製作所
カタログ各二錢郵稅五枚要ス
直ぐ御問に合ふ既製品五十餘種類在庫豊富

債券
債券仲値段
勸業債券十圓券
復興債券十圓券
復興債券百圓券
出合豊富　賣買迅速
▲印米月くじ●當選番號表一部三錢一ヶ年卅錢
東京市麹町區內山下町（日本勸業銀行横)
日本勸業證券株式會社
電話銀座自一四三五至三四三九・振替東京一八
東部支店
神田須田町六又一点　須田町支店
淺草・吾妻橋・西詰　淺草支店
横濱市尾上町停留所前　横濱支店
仙台市南町郵便局前　仙台支店
札幌市南二条西三丁目　札幌支店

資本金　五千七百五拾萬圓（拂込濟）
法定準備金　五千七百五拾萬圓
別途準備金　壹千參百萬圓
東京市麹町區丸ノ內二丁目一番地
株式會社　第一銀行
支店所在地　東京、横濱、大阪、神戸、福岡、久留米、熊本、名古屋、四日市、京都、小樽、函館、札幌、仙臺、廣島、下關、門司、小倉、福山、宇都宮、足利、桐生、館林

明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

定價　一ヶ月　九十五錢　一四八十錢
一部　五錢　八十錢（外國郵便ニ各送料共）
廣告料　本公告　八ポイント一行三十錢　九ポイント五錢增
一般廣告　八ポイント一行十四字詰　二十五錢

發行所　東京市麹町區大平町
內閣印刷局
電話浪花九ノ內三五一(九)
振替東京一九〇〇〇官報課

(本書ノ大サハ國定規格A4判)

特定 28775 号 特文

付録

特 28715 号 付録

官報 昭和十一年八月一日 第二千八百七十五號 土曜日

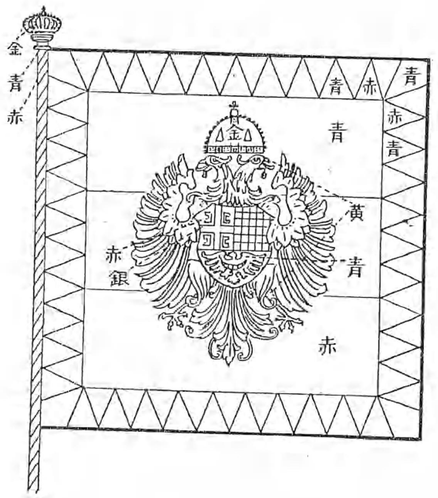
商工省告示別冊

告示二

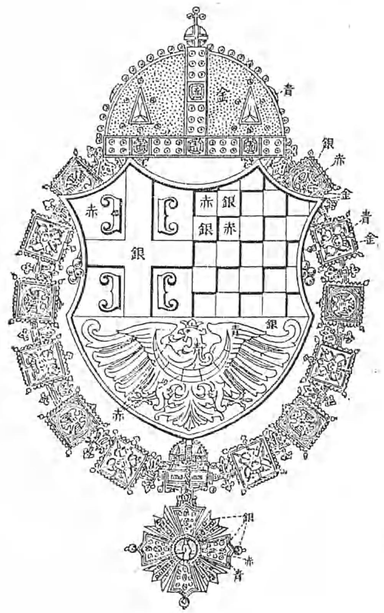
(一)

國ノ紋章

皇帝旗



皇室ノ紋章



(二)

(三)

通商旗

皇帝ノ紋章

黒衛旗

皇帝旗

特 28875 号
仁井堂

（四）

（五）

品製金品商

品製金品商

品製金品商

品製金品商

品製金品商

品製金品商

品製金品商

品製金品商

品製金品商

品製金品商

特許 28875 号 仕様書

品製銀 品商

品製銀 品商

品製銀 品商

品製銀 品商

品製銀 品商

品製銀 品商

品製金白 品商

品製銀 品商

品製金白 品商

品製銀 品商

品製金 品商

品製銀及金 品商

品製金 品商

品製銀及金 品商

品製銀及金 品商

品製金 品商

品製金及金白 品商

品製金及金白 品商

品製金 品商

品出輸 品商

特許 第28875号 特許局

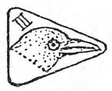
商品 金製 品

商品 銀製 品

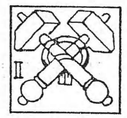
商品 金製 品

商品 銀製 品

商品 銀製 品



商品 銀製 品



商品 銀製 品

商品 外國製 品

商品 銀製 品

商品 外國製 品

特許第28875号